

市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況報告

1. 数値目標に対する達成率（平成 27 年度分）・・・・・・・・・・1～12 ページ
2. 量の見込み（ニーズ）に関する計画・実績比較
（平成 28 年 4 月 1 日時点）・・・・・・・・・・13～14 ページ
3. 事業ごとの進捗状況（平成 27 年度分）＜個票＞ ・・・・15～89 ページ

平成 28 年 10 月 26 日
こども政策部 子育て支援課

1. 数値目標に対する達成率（平成 27 年度分）

<評価方法> : 計画 117 ページ抜粋

■数値目標に対する達成率

①進行管理事業（例：2種類の数値目標の場合）

00 事業					
事業概要				
数値目標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	利用者数（延）.....①				
	人	人	人	人	人
	施設数.....②				
	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所

↓

①の達成率（%）＝実績÷数値目標
 ②の達成率（%）＝実績÷数値目標

↓

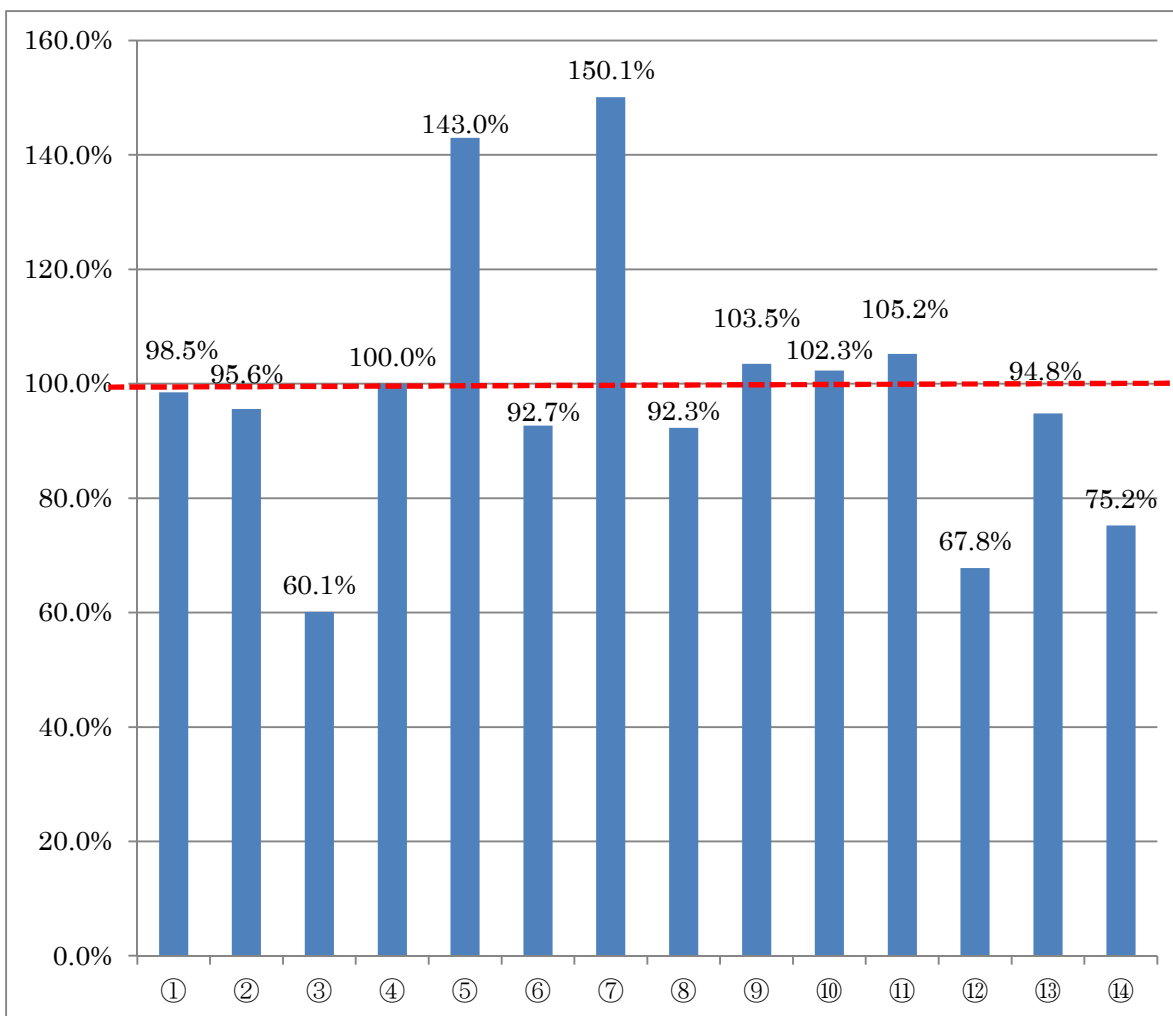
進行管理事業の達成率＝①、②の達成率の平均

②施策の方向の達成率
 ＝構成する各進行管理事業の達成率の平均

③基本目標の達成率
 ＝構成する各進行管理事業の達成率の平均

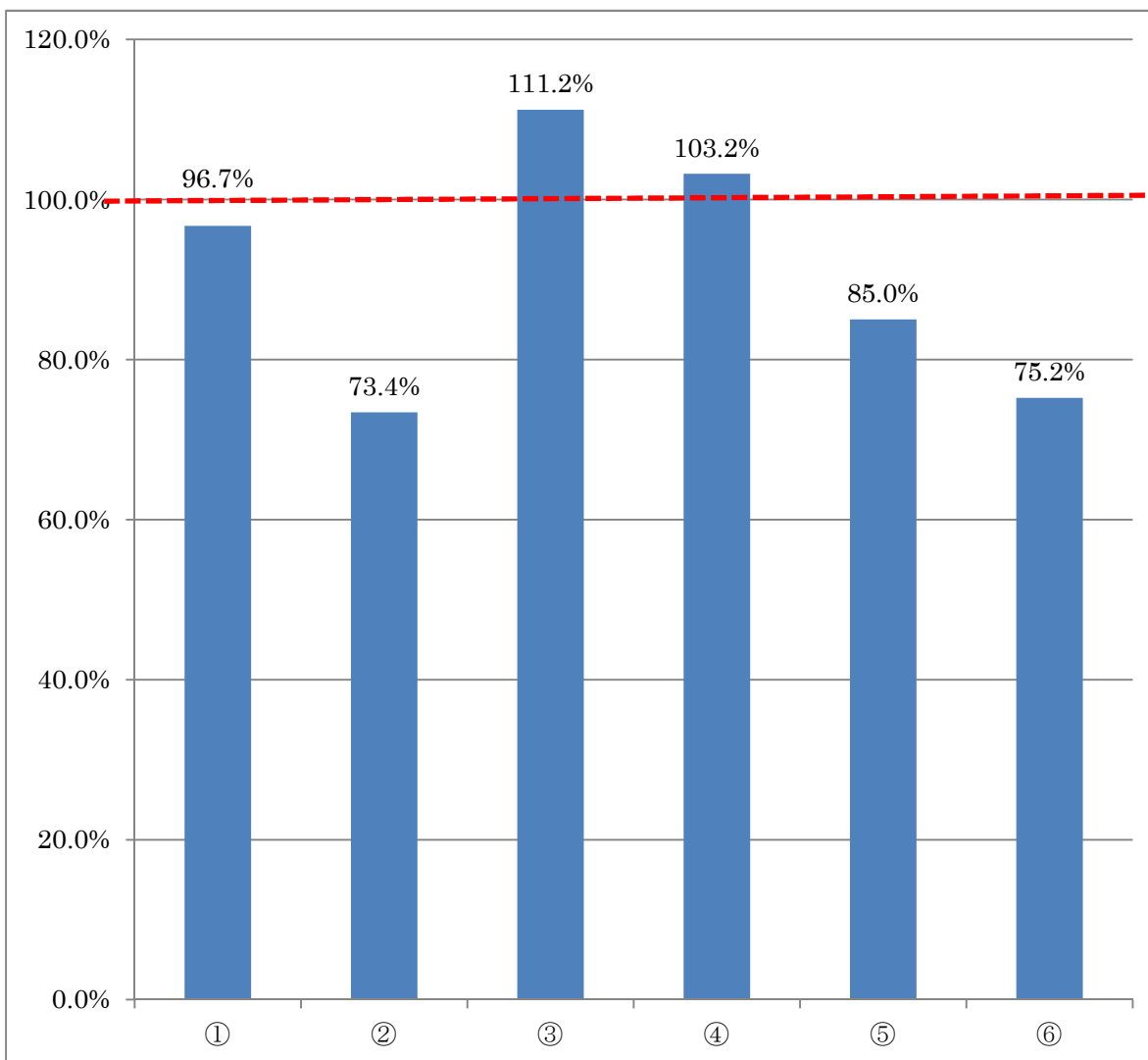
④計画全体の達成率
 ＝構成する各進行管理事業の達成率の平均

<施策の方向の達成率>



- ①子どもの権利保障のための取り組みの充実
- ②子どもの居場所の充実
- ③特定教育・保育施設、特定地域型保育事業の計画的整備
- ④乳幼児期の教育・保育の一体的提供・推進
- ⑤多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービスの充実
- ⑥地域の子育て力向上のための支援の充実
- ⑦子育て相談・情報提供の充実
- ⑧経済支援の充実
- ⑨母子保健の充実
- ⑩小児救急医療の充実
- ⑪虐待防止・対応のための取り組みの充実
- ⑫ひとり親家庭等の自立のための支援の充実
- ⑬発達の支援が必要な子ども・子育て家庭への支援の充実
- ⑭仕事と子育ての両立支援

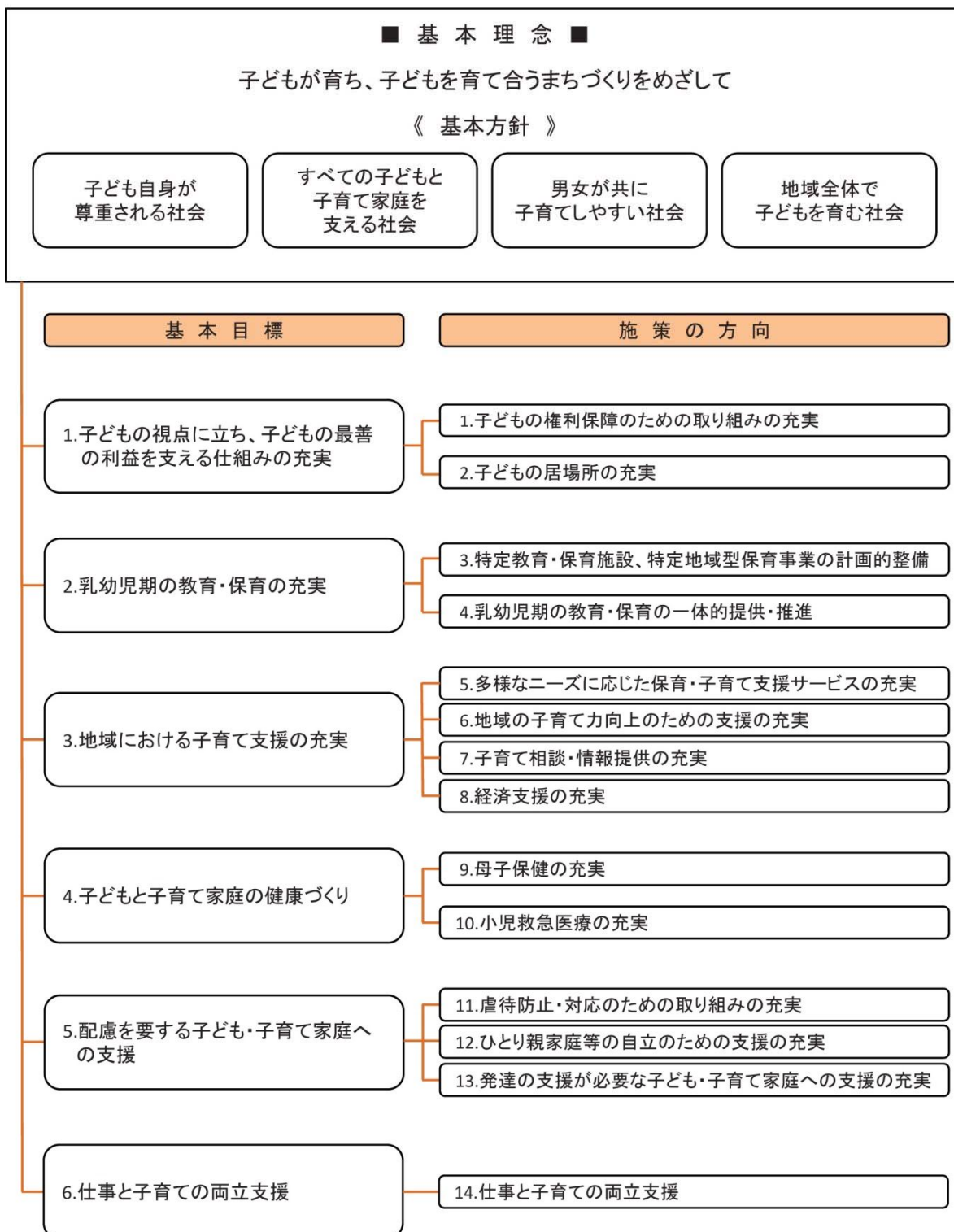
<基本目標ごとの達成率>



- ①子どもの視点に立ち、子どもの最善の利益を支える仕組みの充実
- ②乳幼児期の教育・保育の充実
- ③地域における子育て支援の充実
- ④子どもと子育て家庭の健康づくり
- ⑤配慮を要する子ども・子育て家庭への支援
- ⑥仕事と子育ての両立支援

<計画全体の達成率>

100.4%



<進行管理事業ごとの達成率一覧>

No.	事業名	事業内容	指標	27年度 数値目標	27年度 実績	達成率 (%)
基本目標1 子どもの視点の立ち、子どもの最善の利益を支える仕組みの充実						
施策の方向1 子どもの権利保障のための取り組みの充実						
1	子どもの権利保障啓発事業	児童福祉週間や家族の日のイベント、市民向け講演会や関連機関等に対する研修会、および児童虐待予防と親子関係の改善を目指し、複数回のコースで開催するCSP講座にて、リーフレットの配布を通じ、子どもの権利条約および子どもの権利保障についての周知を図っていきます。	①リーフレット等の配布 ②主なイベントおよび講演会の実施	①45,000枚 ②15回	①0枚 ②20回	66.7
2	子ども実行委員会設置事業	子ども自身が意見を表明し、参加して、子ども自身が望む遊びや体験を実現させるため、子ども実行委員会を設置します。子ども実行委員会では、定期的に会議を開催し、こども館の主催するイベントや行事をつくりあげていきます。	①実行委員(延) ②イベント等の実施(実行委員会が作るイベント・行事)	①120人 ②10回	①253人 ②5回	130.4
施策の方向2 子どもの居場所の充実						
3	放課後保育クラブ運営事業(放課後児童健全育成事業)	放課後保育クラブでは、保護者が就労などにより昼間家庭にいない子どもに対し、適切な遊びおよび生活の場を提供し健全育成を図ります。今後も小学校の余裕教室等を利用し、児童が安心して過ごせる生活の場の確保に向け整備を推進していきます。	定員数	4,760人	4,525人	95.1
4	子どもの居場所づくり事業(ビーイング)	放課後等に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域住民の参画を得て、交流活動等を実施することにより、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。	①利用者数(延) ②施設数	①42,000人 ②9ヵ所	①41,992人 ②9ヵ所	100.0
5	こども館運営事業(小学生~18歳未満)	児童福祉法に基づく児童館とそれに準ずる施設を設置し、児童の健全育成のため、遊びの提供を行うとともに児童の居場所をつくり、問題の発見と予防のための相談・情報提供を行います。また、仲間づくりや協調性を育成するための集団あそび、様々な体験のできる各種講座等を実施します。	①利用者数(小学生)(延) ②利用者数(中・高校生)(延) ③施設数	①105,000人 ②25,000人 ③15ヵ所	①97,639人 ②20,451人 ③15ヵ所	91.6
基本目標2 乳幼児期の教育・保育の充実						
施策の方向3 特定教育・保育施設、特定地域型保育事業の計画的整備						
6	特定教育・保育施設の整備	教育・保育に関する「量の見込み」に応じ、特定教育・保育施設の整備を推進していきます。	①3号認定(0歳)の定員数 ②3号認定(1・2歳)の定員数 ③2号認定の定員数	①686人 ②2,198人 ③4,375人	①700人 ②2,265人 ③4,320人	101.3
7	特定地域型保育事業の整備	保育に関する「量の見込み」に応じ、特定地域型保育事業の整備を推進していきます。	①3号認定(0歳)の定員数 ②3号認定(1・2歳)の定員数	①32人 ②99人	①5人 ②22人	18.9
施策の方向4 乳幼児期の教育・保育の一体的提供・推進						

8	認定こども園の普及促進	幼稚園・保育園の移行による認定こども園の普及を図ります。	認定こども園施設数	2ヵ所	2ヵ所	100.0
基本目標3 地域における子育て支援の充実						
施策の方向5 多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービスの充実						
9	時間外保育事業（延長保育事業）	認可保育園等において、平日および土曜日の通常保育時間を超えて保育サービスを実施します。	利用者数（1日あたり）	3,871人	5,593人	144.5
10	休日保育事業	日曜・祝日も就労等により保育が困難な家庭を支援するため、認可保育園で休日保育を実施します。今後は、市内の主要駅周辺にある保育園のうち、休日も受け入れできる保育園を拠点として整備していきます。	①定員 ②利用者数（延） ③施設数	①40人 ②55人 ③5ヵ所	①- ②86人 ③2ヵ所	98.2
11	一時預かり事業	パートタイムなどの短期就労や保護者の出産・疾病、リフレッシュ等による一時的な保育ニーズに応えるため、一時預かりを実施します。今後は、一時預かり事業をニーズにあわせて拡大していきます。	利用者数（延）	24,000人	22,175人	92.4
12	預かり保育事業（幼稚園における在園児を対象とした一時預かり）	保護者のリフレッシュや就労等を支援するため、幼稚園の保育時間終了後における預かり保育を実施します。今後は、私立幼稚園全園で実施できるよう支援していきます。	利用者数（延）	64,356人	84,254人	130.9
13	病児・病後児保育事業	子どもが病気回復期のため、通常通り保育園等を利用できない場合、医療機関等に併設された保育施設で一時的に保育を実施します。今後は、医療機関を中心に受け入れ施設を整備していきます。	利用者数（延）	1,361人	1,225人	90.0
14	認可外保育園園児補助金	待機児童の解消を含めた多様なニーズへの対応など認可外保育園の特徴を活かした保育サービスを活用していくため、認可外保育園に通う保護者へ補助金を交付し、経済的負担を軽減します。	受給者数（実）	12,000人	12,967人	108.1
15	保育園の第三者機関評価事業	保育の質の向上や保護者からの信頼を高めるため、第三者評価機関による審査・評価を行います。また、評価結果を認可保育園全体のものとして捉えて改善に取り組み、保育の質の向上を図ります。評価結果については、ホームページ等で広く公開します。	第三者評価機関による審査・評価の実施（各年度内に実施する施設数）	1ヵ所/年	4ヵ所/年	400.0
16	こどもショートステイ事業（子育て短期支援事業）	保護者の疾病・出産・出張等により、数日にわたり家庭において児童の養育が困難となった場合、宿泊施設で子どもを預かるサービスを実施します。	利用者数（延）	333人	265人	79.6
施策の方向6 地域の子育て力向上のための支援の充実						
17	地域子育て支援センター事業	保育園等のノウハウと機能を活用した地域子育て支援センターを設置して、子育て中の親子の交流の場の提供と交流の推進、相談・援助、地域の子育て関連情報の提供、各種子育て教室等の開催および子育てサークルの支援を行います。	①施設数 ②利用者数（延）	①11ヵ所 ②147,563人	①11ヵ所 ②113,768人	88.5
18	親子つどいの広場事業	子育て中の親子が気軽に集える場として、親子つどいの広場を設置し、子育て中の親子の交流の場の提供と交流の促進、相談・援助、地域の子育て関連情報の提供および地域の支援者への講習を行います。	①施設数 ②利用者数（延）	①4ヵ所 ②68,293人	①4ヵ所 ②45,427人	83.3

19	こども館運営事業 (小学校就学前まで)	児童福祉法にもとづく児童館とそれに準ずる施設を設置し、遊びの提供を行う乳幼児親子の居場所とするとともに、育児不安解消のための相談・情報提供を行います。 また、親子の関係づくり・仲間づくりのための親子活動、父親の育児参加促進のための父親支援、親育ち・親の子育て力向上のための各種講演会等を実施します。	①利用者数(延) ②施設数 ③行事・イベント	①115,000人 ②15カ所 ③4,250回	①72,315人 ②15カ所 ③4001回	85.7
20	ファミリー・サポート・センター事業 (子育て援助活動支援事業)	育児の支援をしたい会員、育児の支援を受けたい会員、両方を利用したい会員を組織化し、子育てに関する人と人との相互援助活動として、保育園・幼稚園・放課後保育クラブへの送迎・送迎後の預かり等のサポートを行います。引き続き、協力・両方会員の確保を図っていきます。	利用者数(延)	13,985人	17,276人	123.5
21	産後家庭ホームヘルプサービス	核家族で保護者の親族や近隣からの支援が十分に得られない家庭にあって、特に保護者が産後で一時的に家事、育児ができないとき、ヘルパーを派遣して、支援していきます。	登録者数(延)	100人	163人	163.0
22	すこやか応援隊事業	すこやかな親子の育ちを目的として、市内の様々な地域に出向き、訪問・相談・情報提供などの活動を実施し、一人ひとりに合った支援をコーディネートしていく中で、地域に根ざした子育て支援を進めていきます。	利用者数(延)	2,800人	2,848人	101.7
23	子育てサークル育成事業	子育てにかかわるサークル活動を行っている団体について、登録制によって活動を支援するとともに、ホームページ等により広く情報を公開することで市民活動の活性化を図ります。	登録サークル	60団体	49団体	81.7
24	いちかわ子育て支援ボランティア養成事業	地域で子育て支援を行いたいボランティアを養成するため、「子育て支援ボランティア養成講習会」を開催するとともに、修了後の活動をコーディネートすることによって、地域の子育て力の向上を図っていきます。	①受講者数(実) ②講習会の開催	①30人 ②5回	①48人 ②5回	130.0
25	青少年と乳幼児親子のふれあい交流事業	こども館における健全育成活動の一環として、児童生徒が乳幼児親子とのふれあい・育児体験をすることにより、命の大切さ・親子の絆を学ぶ活動を実施します。	①実施回数 ②参加者数(小学生) ③参加者数(中・高校生) ④参加者数(乳幼児親子)	①50回 ②30人 ③1,200人 ④1,300人	①32回 ②12人 ③710人 ④987人	59.8
26	保育園での子育て支援(地域交流)	保育園の地域交流として、保育園に通園していない未就学児童等を含め、園庭開放、親子のふれあい遊びの支援等を行い、保育園と地域および地域住民同士の交流を図ります。	①参加者(延) ②地域交流の実施 ③実施施設	①7,500人 ②640回 ③75カ所	①7,492人 ②577回 ③55カ所	87.8
27	幼稚園での子育て支援(園庭開放)	幼稚園の地域交流として、幼稚園に通園していない未就学児童を対象に、園庭を解放し、親子で遊んだり、育児について親同士が話し合える場とします。 また、育児についての不安や悩みを受け止め、子育て支援の場とします。	①園庭開放の実施数 ②園庭開放の実施施設	①815回 ②7カ所	①645回 ②7カ所	89.6
28	中高年ボランティア事業(保育園)	社会を担ってきた中高年を保育ボランティアとして受け入れ、ふれあい遊びや絵本の読み聞かせ、草木の世話等を通じて、保育園児との世代間交流を図ります。	①ボランティア登録者数 ②活動件数 ③実施施設	①100人 ②3,000回 ③30カ所	①58人 ②1,570回 ③23カ所	62.3

29	マイ保育園登録制度事業	地域で継続した子育て支援を実施し、産前産後うつや育児不安などを解消していくため、身近な保育園に登録して、妊婦時代には子育て体験、産後は育児相談や地域との交流などの支援を保育園で実施していきます。	①登録者数 ②実施施設	①420人 ②21カ所	①304人 ②23カ所	91.0
30	青空こども広場事業	就学前の子どもが伸び伸びと遊べる「青空こども広場」を公園の少ない地域等に設置します。	施設数	2カ所	1カ所	50.0
施策の方向7 子育て相談・情報提供の充実						
31	子ども家庭総合支援センター事業	子どもと子育て家庭に関する総合相談窓口として、保健・福祉・教育等に関する基本的な問い合わせやサービスの紹介に応じるとともに、手続きや相談が必要な場合には、関係機関と連携して適切な支援を実施します。	問合せ・相談件数(延)	5,000件	6,777件	135.5
32	子育てガイドブック	本市における子ども・子育てに関する保健・福祉・教育・医療などの情報を網羅した情報誌を隔年で発行し、子育てにかかる行政の総合的な情報をわかりやすく提供します。	発行部数	20,000冊	20,000冊	100.0
33	子育て応援サイト事業	子育て応援サイト「いちかわっこWEB」により、行政情報のみならず、NPOやサークル等によって実施されている様々な子育て支援に関する民間情報を提供します。	アクセス数(月平均)	10,000件	13,901件	139.0
34	利用者支援事業	子育てナビゲーターが、幼稚園、保育園等の子育て関係機関及び施設等と連絡調整を図り情報収集を行い、子ども及びその保護者に合った幼稚園、保育園等の紹介や申請方法等をご案内するとともに、子育てに見通しをもつための子育てライフプランのイメージを提案し、就学前の子どもの所属先についての情報を幅広く提供していきます。 上記の事業を本庁において「子育てナビ八幡」、行徳支所において「子育てナビ行徳」として、市内全域を対象に実施します。 また、「出張子育てナビ」として地域に出向き、市内全域に利用者支援のサービスを展開します。	①実施箇所数 ②子育てナビ利用者数(延) ③出張子育てナビ利用者数(延)	①2カ所 ②1,500人 ③450人	①2カ所 ②6,330人 ③699人	225.8
施策の方向8 経済支援の充実						
35	児童手当	子育て家庭の生活の安定と児童の健全な育成を図るため、中学校修了前の児童を養育している保護者に手当を支給します。	受給児童数(延)	710,000人	702,050人	98.9
36	子ども医療費助成	子どもの健やかな成長を願い、子育て家庭の経済的負担を軽減するため、子どもの医療費(保険適用分)の一部を助成します。	助成対象者数(実)	53,959人	54,535人	101.1
37	私立幼稚園就園奨励費補助金	公立幼稚園と私立幼稚園保育料の格差は正および保護者の経済的負担の軽減を図るため、保護者に補助金を交付します。	受給者数(実)	5,000人	4,489人	89.8
38	幼稚園類似施設園児補助金	幼稚園類似施設を利用する保護者の経済的負担軽減を図るため、所得区分に応じて補助金を交付します。	受給者数(実)	800人	599人	74.9

39	奨学資金給付事業	高等学校および高等専門学校の課程を修得するに際し、経済的理由により修学が困難な生徒に奨学資金を支給し、教育の機会均等を図ります。	奨学生数	136人	136人	100.0
40	入学準備金貸付事業	経済的理由により入学準備金の調達が困難な保護者に対し、入学費用の一部を無利子で貸し付けます。	貸付件数	117件	84件	71.8
41	保護児童生徒援助費	経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し、学校教育に必要な費用の一部を援助します。	認定者数	2,989人	2,818人	94.3
42	特別支援教育就学奨励費	特別支援学級および通級指導教室に通学している児童・生徒の保護者に対し、就学に要する費用の一部を支給します。	認定者数	297人	319人	107.4
基本目標4 子どもと子育て家庭の健康づくり						
施策の方向9 母子保健の充実						
43	母子健康手帳交付	出産までの母の健康状態のチェック、出産した施設・病院の記録、出産後の赤ちゃんの予防接種や健康状態・発育状況など、母子の健康管理の状況を記録する母子健康手帳を交付します。また、保健センターではこの手帳の発行時、面接にて健康等に関する相談や、妊娠および乳幼児に関する行政情報、保健・育児情報の提供を併せて行います。	利用者数（実） 9ヵ所で交付	4,371人	4,928人	112.7
44	妊婦・乳幼児健康診査事業	妊婦・乳児に対して一般健康診査を医療機関に委託して実施し、異常の有無を早期に把握し適切な指導を行い、健康の保持増進を図ります。これについては、母子健康手帳発行時に受診票を配布して費用助成を行います。 また、1歳6か月児・3歳児健康診査を実施し、疾病の早期発見・早期治療に努めるとともに、精神的・身体的発育発達、基本的な生活習慣、歯科衛生など多角的な健診を行い、幼児の健全な発育・発達を促します。	①受診回数（妊婦一般健康診査） ②受診回数（乳児一般健康診査） ③実施回数（1歳6か月児健康診査） ④実施回数（3歳児健康診査）	①14回 ②2回 ③48回 ④48回	①14回 ②2回 ③48回 ④48回	100.0
45	母子訪問事業（乳児家庭全戸訪問事業）	妊娠・出産・育児に対する不安を軽減するとともに疾病の予防・健康の増進を図るため、地区担当保健師が対応します。妊娠届出書をもとに支援が必要な方や希望する方へ妊婦訪問、出生連絡票をもとに新生児および1～2か月児のいる家庭の全戸訪問、また希望者や育児相談事業、健康診査、健康教育等から支援が必要なご家庭に訪問し、個別あるいはご家庭のニーズに応じた相談・指導を行います。	利用者数（実）	3,818人	4,207人	110.2
46	保健推進員活動事業	保健推進員が全戸訪問を行い、市民と行政のパイプ役として保健事業のPR、健康相談窓口の案内、保護者に対する4か月赤ちゃん講座への参加の呼びかけ等を行い、市民の健康の保持・増進が図られるよう支援活動を推進します。	①保健推進員 ②訪問対象件数	①150人 ②3,818人	①122人 ②3,530人	86.9
47	母親学級・両親学級	初めて出産を経験する家庭が安心して出産を迎えられるように、妊娠中の過ごし方・栄養・出産・育児についての講義や沐浴実習等を実施します。	①母親学級参加者数（延）2ヵ所で実施 ②両親学級参加者数（延）2ヵ所で実施	①450人 ②1,530人	①356人 ②1,923人	102.4

48	4か月赤ちゃん講座	疾病の早期発見・健康保持を図るための支援として、集団で発育、発達、基本的な生活習慣および離乳食の進め方等の講義、計測、個別相談を実施します。また、保護者の育児に関する孤立化の防止を支援します。	①参加組数(実) ②開催回数	①3,000組 ②84回	①3,011組 ②84回	100.2
49	離乳食教室(1回食・2回食)	乳幼児の健やかな成長を目指し、保護者の育児に対する不安を軽減するため、離乳食(1回食・2回食)の進め方の講義と実演・試食を実施します。	①参加者数(1回食)(延) ②開催回数(1回食) ③参加者数(2回食)(延) ④開催回数(2回食)	①1,250人 ②54回 ③1,000人 ④54回	①1,322人 ②54回 ③1,155人 ④52回	104.4
50	妊婦栄養教育	妊娠中の食生活について、夫婦一緒に学ぶことをきっかけに、妊婦自身の健康と生まれてくる赤ちゃんを含めた家族の健康づくりにつなげるため、講義、グループワーク等を実施します。	①参加者数(延) ②開催回数	①120人 ②12回	①167人 ②14回	127.9
51	妊婦歯科健診・歯みがきレッスン	妊婦歯科健診：歯科医師によるむし歯や歯肉の健診と相談、歯科衛生士による歯垢染め出しと歯みがき指導を実施します。 歯みがきレッスン：歯科衛生士による年齢別歯みがき指導を実施します。	①妊婦歯科健診参加者数(延) ②歯みがきレッスン参加者数(延)	①240人 ②2,000人	①254人 ②1,750人	96.7
52	育児相談	育児不安の軽減を図ることを目的に、保健・栄養・歯科衛生士に関して保健師、管理栄養士、歯科衛生士が面接または電話による相談を随時受け付けます。	相談組数(延)	4,000組	4,270組	106.8
53	予防接種事業	出生届けの際等に「市川市予防接種手帳」を交付し、予防接種(ヒブ、小児用肺炎球菌、4種混合、三種混合、ポリオ、BCG、麻しん風しん、おたふくかぜ、日本脳炎、二種混合、子宮頸がん)を個別に実施します。	接種者数(延)	104,000人	94,432人	90.8
施策の方向10 小児救急医療の充実						
54	急病診療所等運営事業	急病診療所においては、休日や夜間の急な病気の初期診療を行うため、内科、小児科、外科(土、日、祝日および年末年始のみ)の診療を実施します。 休日急病等歯科診療所においては、休日に急な歯の痛み等の応急処置を行うために、日、祝日、盆期および年末年始に診療を実施します。	①利用者数(延)(急病診療所) ②医師の待機日数(急病診療所) ③施設数(急病診療所) ④利用者数(延)(休日急病等歯科診療所) ⑤医師の待機日数(休日急病等歯科診療所) ⑥施設数(休日急病等歯科診療所)	①16,000人 ②366日 ③1カ所 ④669人 ⑤75日 ⑥1カ所	①16,483人 ②366日 ③1カ所 ④642人 ⑤75日 ⑥1カ所	99.8
55	あんしんホットダイヤル	夜間や休日に診療している病院などが知りたいとき、急な病気やケガの対処に困ったとき、健康に関する相談がしたいとき、子育てに関する相談がしたいとき等に問い合わせができ、医師、保健師、看護師などから適切なアドバイスを受けられるフリーダイヤルのテレフォンサービスを24時間年中無休で実施します。	利用件数	30,000件	29,366件	97.9
56	2次救急医療運営事業	主治医や急病診療所では扱えない病気、入院・手術が必要な場合および急病診療所の対応時間外における受け入れ体制の充実のため、救急医療体制(2次)を整備します。	①利用者数(延) ②医師の待機日数 ③施設数	①80人 ②366日 ③7カ所	①108人 ②366日 ③7カ所	111.7

57	2.5次救急医療運営事業	脳血管疾患、循環器疾患等の重篤救急患者および小児科をはじめ、夜間・休日の対応の少ない診療科の受け入れ体制の充実のため、1次・2次の救急医療機関の後方病院的役割を担う救急医療体制（2.5次）を整備します。	①医師の待機日数（小児科医） ②施設数（市内の小児科医療機関）	①366日 ②3カ所	①366日 ②3カ所	100.0
基本目標5 配慮を要する子ども・子育て家庭への支援						
施策の方向1.1 虐待防止・対応のための取り組みの充実						
58	要保護児童への支援事業（要保護児童対策地域協議会）	要保護児童等への適切な支援を実施するため、関係機関（警察、法務局、児童相談所等）国県の関係機関、市関係機関、医師会、歯科医師会、人権擁護委員協議会、学校長連絡協議会、民生委員児童委員協議会、青少年相談員連絡協議会等）により、協議会にて情報を共有し、支援体制の検討・評価・進行管理を行うなど、協力連携を図りながら要保護児童等を支援していきます。 今後は児童虐待の要因の一つとなりやすい発達障害の問題も取り上げていきます。	支援世帯（実）	400世帯	418世帯	104.5
59	家庭児童相談事業	市の「家庭児童相談」は、児童虐待相談の通報窓口機能をもつとともに、家庭児童相談員が虐待を受けている児童に関する調査、支援計画の作成、支援の実施を行います。また、子どもの発達、育児の不安、家庭の養育環境等子育てに関する様々な相談についても、家庭児童相談員が対応し、育児不安の解消や虐待の未然防止を図ります。	相談件数（延）	4,000件	4,574件	114.4
60	養育支援訪問事業	児童虐待相談や保健センターの新生児訪問等により、児童の養育について積極的に支援することが必要と判断される家庭に対し、ヘルパー等を派遣して養育に関する指導、助言、家事・育児援助等を行うことにより、家庭における児童の適切な養育環境を確保していきます。	利用者数（実）	8人	6人	75.0
61	親力スキルアップ・CSP講座	児童虐待の予防や親子関係の改善を目指すため、CSP（コモンセンス・ペアレンティング）という技法を活用した子育て方法を学ぶ講座を実施します。	①講座開設数 ②参加者数（実）	①16回 ②80人	①15回 ②128人	126.9
施策の方向1.2 ひとり親家庭等の自立のための支援の充実						
62	児童扶養手当（母子家庭）	母子家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の健全な育成を図るため、手当を支給します。	受給児童数（延）	39,211人	38,493人	98.2
63	児童扶養手当（父子家庭）	父子家庭の生活の安定と自立を助け、児童の健全な育成を図るため、手当を支給します。	受給児童数（延）	1,908人	1,438人	75.4
64	ひとり親家庭等医療費助成事業	ひとり親家庭および父母のいない児童を養育する家庭の福祉の増進を図るため、これらの家庭の医療費（保険適用分）の一部を助成します。	助成対象者数（実）	1,477人	1,416人	95.9
65	遺児手当支給事業	両親もしくはどちらか一方が死亡、1年以上の生死不明または障害となった場合、その児童の健全な育成を図るため、手当を支給します。	受給児童数（延）	2,700人	2,243人	83.1
66	ひとり親相談事業	ひとり親家庭の生活や就労に関して、母子自立支援員が相談に応じ、自立に向けた相談・支援を行います。	①相談件数 ②相談員の体制	①700件 ②2人	①214件 ②2人	65.3

67	母子の緊急一時保護事業	経済的困窮、DV避難、火災等により居所がなくなってしまった母子を、施設において一時的に保護するとともに、自立に向けた支援を行います。	利用世帯数 (延)	100世帯	25世帯	25.0
68	ひとり親家庭自立支援事業	ひとり親家庭の父・母が、就労に必要な知識や技能を修得するために教育訓練講座(医療事務、ホームヘルパー等)を受講した場合、講座終了後に受講料の2割相当額を支給し、自立を支援します。 また、看護師等の経済的な自立に効果的な資格を取得することを支援するため、2年以上養成機関等で修学する場合、生活費の負担軽減のため高等技能訓練促進費等を支給します。 また、就労を希望する場合には、母子自立支援員が相談者の意向や生活状況、就労経験等を考慮して、ハローワークと連携しながら相談者の状況に合った就労支援プログラムを作成し、自立を支援します。	①教育訓練給付金支給件数(実) ②高等技能訓練促進費等支給件数(実) ③自立支援プログラム作成事業利用者数(実)	①6人 ②8人 ③5人	①0人 ②6人 ③1人	31.7
施策の方向1-3 発達支援が必要な子ども・子育て家庭への支援の充実						
69	こども発達相談室事業	発達の支援が必要な子どもの相談を受け付け、一人ひとりに応じた個別支援計画に基づき、指導や家族支援を行います。 (乳幼児から就学前まで。個別指導・グループ指導など)さらに公共施設等で、相談と指導の地域拠点を定期的に設け、継続的な支援が受けやすくなるようにします。	①相談件数(延) ②対象年齢 ③施設数	①10,000件 ②小学校3年まで ③3カ所	①9,443件 ②小学校3年まで ③3カ所	98.1
70	発達障害の理解と支援のための研修	障害児への理解の促進および教育や保育現場で活かせるような障害の特性を理解した支援や援助の方法を習得していくための研修や、あおぞらキッズ・おひさまキッズの療育現場を活用した実技研修会を開催していきます。	①受講者数(延) ②研修の実施	①200人 ②30回	①199人 ②30回	99.8
71	発達障害児保育(保育園)	配慮を要する子どもの保育の実施にあたっては、こども発達センターの指導・助言を受け、連携してすすめていきます。また、保育士に対する研修も実施していきます。	障害児受入可能施設	75カ所	57カ所	76.0
72	幼児教育相談	特別支援教育の充実を図るため、公立幼稚園内にひまわり学級を設置するとともに、幼児教育相談員が公立・私立幼稚園を巡回し、教諭への指導助言を行い、保護者の相談に対応します。	①相談件数(延) ②相談員体制 ③ひまわり学級の設置	①900件 ②4人 ③3カ所	①1,041件 ②4人 ③3カ所	105.2
基本目標6 仕事と子育ての両立支援						
施策の方向1-4 仕事と子育ての両立支援						
73	雇用促進奨励金(母子家庭の母等)	母子家庭の母等の常用雇用を促進するため、公共職業安定所の紹介等で母子家庭の母等を雇用した事業主に対して奨励金を交付します。	受給者数(実)	17人	9人	52.9
74	いちかわ子育て応援企業認定事業	子育てにやさしいまちづくりを推進するため、子どもや子育てにやさしい取り組みを進める企業を「いちかわ子育て応援企業」として認定します。	新規認定企業数	5社	3社	60.0
75	家族の週間事業	内閣府が定める「家族の日」(11月第3日曜日)、その前後1週間の「家族の週間」に合わせ、地域の企業・NPO等の協力により、子育て家庭を対象としたイベントを実施するとともに、公共施設の入場料等のサービス等を実施します。これにより、「家族の大切さ」「家族を支える地域の力」について啓発し、地域全体で子育て家庭を支援していきます。	①参加者(延) ②参加企業・団体	①5,000人 ②50団体	①5,351人 ②59団体	112.5

2. 量の見込み（ニーズ）に関する計画・実績比較（平成28年4月1日時点）

<教育・保育>

①市全域

	計画(A)	実績(B)	(B)－(A)	(B)／(A)
3号認定(0歳)	676人	650人	-26人	96%
3号認定(1・2歳)	2,738人	3,187人	449人	116%
2号認定	4,204人	4,173人	-31人	99%
1号認定	5,420人	5,638人	218人	104%
1号認定(類似含)		6,135人	715人	113%

②北部

	計画(A)	実績(B)	(B)－(A)	(B)／(A)
3号認定(0歳)	121人	116人	-5人	96%
3号認定(1・2歳)	582人	596人	14人	102%
2号認定	951人	895人	-56人	94%
1号認定	1,750人	2,122人	372人	121%
1号認定(類似含)		2,122人	372人	121%

③中部

	計画(A)	実績(B)	(B)－(A)	(B)／(A)
3号認定(0歳)	338人	308人	-30人	91%
3号認定(1・2歳)	1,282人	1,399人	117人	109%
2号認定	1,777人	1,702人	-75人	96%
1号認定	2,335人	2,522人	187人	108%
1号認定(類似含)		2,522人	187人	108%

④南部

	計画(A)	実績(B)	(B)－(A)	(B)／(A)
3号認定(0歳)	217人	226人	9人	104%
3号認定(1・2歳)	874人	1,192人	318人	136%
2号認定	1,476人	1,576人	100人	107%
1号認定	1,335人	994人	-341人	74%
1号認定(類似含)		1,491人	156人	112%

※「実績(B)」欄の数値について

○3号認定、2号認定については、保育施設の入園者数+申請者数
(平成28年4月1日時点)

○1号認定については、幼稚園等の入園者数(平成28年5月1日時点)

<放課後児童健全育成事業>

①市全域

	計画(A)	実績(B)	(B)－(A)	(B)／(A)
低学年	3,530 人	3,391 人	-139 人	96%
高学年	646 人	885 人	239 人	137%
計	4,176 人	4,276 人	100 人	102%

②北部

	計画(A)	実績(B)	(B)－(A)	(B)／(A)
低学年	722 人	729 人	7 人	101%
高学年	111 人	199 人	88 人	179%
計	833 人	928 人	95 人	111%

③中部

	計画(A)	実績(B)	(B)－(A)	(B)／(A)
低学年	1,405 人	1,382 人	-23 人	98%
高学年	361 人	383 人	22 人	106%
計	1,766 人	1,765 人	-1 人	100%

④南部

	計画(A)	実績(B)	(B)－(A)	(B)／(A)
低学年	1,403 人	1,280 人	-123 人	91%
高学年	174 人	303 人	129 人	174%
計	1,577 人	1,583 人	6 人	100%

※「実績 (B)」欄の数値について

○入所者数+申請者数 (平成 28 年 4 月 1 日時点)

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.1	子どもの権利保障啓発事業	所管課	子育て支援課
基本目標	1.子どもの視点に立ち、子どもの最善の利益を支える仕組みの充実		施策の方向	1.子どもの権利保障のための取り組みの充実
事業内容	児童福祉週間や家族の日のイベント、市民向け講演会や関連機関等に対する研修会、および児童虐待予防と親子関係の改善を目指し、複数回のコースで開催するCSP講座にて、リーフレットの配布を通じて、子どもの権利条約および子どもの権利保障についての周知を図っていきます。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①リーフレット等の配布	45,000枚	0枚	0.0	%	45,000枚	45,000枚	45,000枚	45,000枚	45,000枚	45,000枚	45,000枚	45,000枚
②主なイベントおよび講演会の実施	15回	20回	133.3	%	15回	15回	15回	15回	15回	15回	15回	15回
③				%								
総合評価				66.7								

事業費(予算/決算)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

成果・課題	平成27年度は関係機関の研修会や会議などで児童虐待予防について講演依頼が多くあった。その中で(1416人)パワーポイントを使い「子どもの権利」について参加者へ直接伝える事が出来た。子どもの権利については児童虐待予防の情報に合わせて周知を行うことより、より具体的に理解が進むと考えることから、今後リーフレットの内容・周知方法について検討が必要である。											
今後の取組内容	子どもの権利保障啓発について取り組み方法(リーフレット・周知方法)の見直しを行いながら進める。											

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.2	子ども実行委員会設置事業	所管課	子育て支援課
基本目標	1.子どもの視点に立ち、子どもの最善の利益を支える仕組みの充実		施策の方向	1.子どもの権利保障のための取り組みの充実
事業内容	子ども自身が意見を表明し、参加して、子ども自身が望む遊びや体験を実現させるため、子ども実行委員会を設置します。子ども実行委員会では、定期的な会議を開催し、こども館の主催するイベントや行事をつくりあげていきます。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標
① 実行委員(延)	120人	253人	210.8	%	132人	144人	156人	168人				
② イベント等の実施(実行委員会が作るイベント・行事)	10回	5回	50.0	%	11回	12回	13回	14回				
③				%								
総合評価			130.4	%								
事業費(予算/決算)	-	30千円			-	千円	-	千円	-	千円	-	千円

成果・課題	実行委員としてイベントに参加しようとする意欲ある児童によって定着してきた。子ども実行委員が事業として設ける特別なイベントだけに関わらず、日常の定形的な事業への参加の意向も実行委員から出されていたので、今後は参加できるように取り組んでいきたい。
今後の取組内容	子ども実行委員の活動がより活発に進められるように、新たなメンバーへの誘い掛けをしながら進めていく。また、メンバーへの支援に必要な職員の資質を高めていくことで、子ども達の意欲をより引き出していきたい。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 < 平成27年度 >

事業名	No.3	放課後保育クラブ運営事業(放課後児童健全育成事業)	所管課	青少年育成課
基本目標	1.	子どもの視点に立ち、子どもの最善の利益を支える仕組みの充実	施策の方向	2.子どもの居場所の充実
事業内容	放課後保育クラブでは、保護者が就労などにより居家庭にいない子どもに対し、適切な遊びおよび生活の場を提供し健全育成を図ります。今後も小学校の余裕教室等を利用し、児童が安心して過ごせる生活の場の確保に向けて整備を推進していきます。			

指標	平成27年度		達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標		
①定員数	4,760人	4,525人	95.1 %	4,760人	4,760人	4,760人	4,760人	4,760人	4,760人	4,760人	4,760人
②			%								
③			%								
総合評価			95.1 %								
事業費(予算/決算)	1,083,507千円	1,101,127千円		一千円	一千円	一千円	一千円	一千円	一千円	一千円	一千円

成果・課題	8か所の保育クラブ室を増設し、待機児童の解消を図ることができた。一方、今後児童数が増える見込みであり、教室の借用や、プレハブ設置が困難な状況である。
今後の取組内容	民間事業への放課後児童健全育成事業の補助金制度を確立することで、民間事業の活用により待機児童の解消を図っていく。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.4	子どもの居場所づくり事業(ピーニング)	所管課	青少年育成課
基本目標	1.子どもの視点に立ち、子どもの最善の利益を支える仕組みの充実	施策の方向	2.子どもの居場所の充実	
事業内容	放課後等に小学校の余剰教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域住民の参画を得て、交流活動等を実施することにより、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。			

指標	平成27年度			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	達成率	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①利用者数(延)	42,000人	41,992人	100.0 %	42,100人	42,200人	42,300人	42,400人				
②施設数	9カ所	9カ所	100.0 %	9カ所	9カ所	9カ所	9カ所				
③			%								
総合評価	100.0 %										
事業費(予算/決算)	28,707千円	26,598千円		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円

成果・課題	現場の定数外職員を対象とした県主催の研修等に参加し、運営の内容について質を高めることができた。(地域のボランティア団体等と連携し、イベントを開催する等。)今後の課題としては、地域のボランティア団体により連携を密にし、イベントの開催数を増やしていきたい。
今後の取組内容	国の推進する「放課後子ども総合プラン」に則り、ピーニングと保育クラブの両事業で連携を深めていく。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.5	子ども館運営事業(小学生～18歳未満)	所管課	子育て支援課
基本目標	1.子どもの視点に立ち、子どもの最善の利益を支える仕組みの充実		施策の方向	2.子どもの居場所の充実
事業内容	<p>児童福祉法に基づき児童館とそれに準ずる施設を設置し、児童の健全育成のため、遊びの提供を行うとともに児童の居場所をつくり、問題の発見と予防のための相談・情報提供を行います。 また、仲間づくりや協調性を育成するための集団あそび、様々な体験のできる各種講座等を実施します。</p>			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標
①利用者数(小学生)(延)	105,000人	97,639人		93.0 %	105,000人	105,000人	105,000人	105,000人	105,000人	105,000人	105,000人	105,000人
②利用者数(中・高校生)(延)	25,000人	20,451人		81.8 %	25,000人	25,000人	25,000人	25,000人	25,000人	25,000人	25,000人	25,000人
③施設数	15カ所	15ヶ所		100.0 %	15カ所	15カ所	15カ所	15カ所	15カ所	15カ所	15カ所	15カ所
総合評価				91.6 %								

事業費(予算/決算)	900千円	1,222千円		—	千円	—	千円	—	千円	—	千円	—	千円
------------	-------	---------	--	---	----	---	----	---	----	---	----	---	----

遊びを通して異年齢の繋がりがや仲間作りの場となっている。中高生の利用は、子ども館の規模・季節・曜日等によって偏りがあるが、それぞれの施設に応じたスポーツ遊具等の提供を行い、環境整備を図っている。児童から気軽に相談ができた、児童から気軽に相談ができた、他の専門機関に繋げること、虐待や不登校の予防的な役割も果たしている。

市民アンケート等を実施し、装備品、環境設定、遊びの提供の見直し・改善を行う。(平成28年度実施)

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.6	特定教育・保育施設の整備	所管課	こども施設計画課
基本目標		2.乳幼児期の教育・保育の充実	施策の方向	3.特定教育・保育施設、特定地域型保育事業の計画的整備
事業内容	教育・保育に関する「量の見込み」に応じ、特定教育・保育施設の整備を推進していきます。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	実績	実績	数値目標	実績	実績	数値目標	実績	実績	数値目標	実績	実績
①3号認定(0歳)の定員数(当該年度整備分を含む)	686人	700人	102.0%	750人	811人	850人	850人	850人	850人	850人	850人	850人	850人	850人	850人	850人
②3号認定(1・2歳)の定員数(当該年度整備分を含む)	2,198人	2,265人	103.0%	2,342人	2,476人	2,566人	2,566人	2,566人	2,566人	2,566人	2,566人	2,566人	2,566人	2,566人	2,566人	2,566人
③2号認定の定員数(当該年度整備分を含む)	4,375人	4,320人	98.7%	4,633人	4,902人	5,112人	5,112人	5,112人	5,112人	5,112人	5,112人	5,112人	5,112人	5,112人	5,112人	5,112人
総合評価	101.3%															
事業費(予算/決算)	442,109千円	262,613千円		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円

成果・課題	保育園の設置に適した物件が不足する中、保育園の新設を11施設(定員計543人)、保育園の定員拡大を3施設(定員計28人)で実施し、計571人の定員拡大を図った。一方で、平成29年4月に開設予定だった1施設(定員108人)が開設中止となった。保育園の設置に適した物件の掘り起こし、及び保育園設置計画地の近隣住民のご理解を求めていくことが主な課題である。
今後の取組内容	保育園設置・運営事業者の公募期間を長期に設定して事業者の応募機会の拡大を図るとともに、保育園の設置にご協力いただける物件所有者と保育事業者とのマッチングに取り組む。また、保育園設置計画地近隣の住民に対する周知・説明を早期かつ十分に実施するよう、保育事業者に求めていく。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.7	特定地域型保育事業の整備	所管課	こども施設計画課、こども施設運営課
基本目標		2.乳幼児期の教育・保育の充実	施策の方向	3.特定教育・保育施設、特定地域型保育事業の計画的整備
事業内容	保育に関する「量の見込み」に応じ、特定地域型保育事業の整備を推進していきます。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標
①3号認定(0歳)の定員数(当該年度整備分を含む)	32人	5人	15.6%	50人	67人	67人	66人									
②3号認定(1・2歳)の定員数(当該年度整備分を含む)	99人	22人	22.2%	243人	494人	493人	492人									
③			%													
総合評価	18.9%															
事業費(予算/決算)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

成果・課題	小規模保育事業所の整備に対する相談はあったが、計画を認可保育園の整備に変更するなど、結果として整備がなかったため、目標を大きく下回った。
今後の取組内容	待機児童数の多くが小規模保育事業の対象となる0歳児から2歳児であるが、小規模保育事業所の整備とあわせ、3歳児以上の受け皿の確保が必要である。 小規模保育事業者の公募を実施するなど、目標定員数の確保を図る。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.8	認定こども園の普及促進	所管課	子育て支援課、こども入園課、こども施設運営課、こども施設計画課
基本目標		2.乳幼児期の教育・保育の充実	施策の方向	4.乳幼児期の教育・保育の一体的提供・推進
事業内容	幼稚園・保育園の移行による認定こども園の普及を図ります。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標
① 認定こども園施設数	2カ所	2カ所	100.0	%	8カ所	16カ所	19カ所	23カ所								
②				%												
③				%												
総合評価			100.0	%												

事業費(予算/決算)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

成果・課題	保育園から保育所型認定こども園への移行で、計画どおり2カ所が設置された。															
今後の取組内容	幼稚園・保育園のどちらからの移行なのか、どの地域にある施設の移行なのか、等により、認定こども園への移行の影響が異なってくるため、今後も、設置者の移行希望がある場合に、それぞれのケースに応じた相談支援等を行っていく。															

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.9	時間外保育事業(延長保育事業)	所管課	こども施設運営課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	5.多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービスの充実
事業内容	認可保育園等において、平日および土曜日の通常保育時間を超えて保育サービスを実施します。			

指標	平成27年度			平成28年度 数値目標	平成29年度 数値目標	平成30年度 数値目標	平成31年度 数値目標
	数値目標	実績	達成率				
①利用者数(1日あたり)	3,871人	5,593人	144.5%	3,967人	4,062人	4,158人	4,253人
②			%				
③			%				
総合評価			144.5%				

事業費(予算/決算)	462,948千円	433,026千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
------------	-----------	-----------	------	------	------	------

成果・課題	長時間の保育を行うことで、様々な就労形態の子育て家庭の支援に寄与した。
今後の取組内容	長時間の保育を実施する私立保育園等の経費について、引き続き補助していく。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.10	休日保育事業	所管課	こども施設運営課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	5.多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービスの充実
事業内容	<p>日曜・祝日も就労等により保育が困難な家庭を支援するため、認可保育園で休日保育を実施します。 今後は、市内の主要駅周辺にある保育園のうち、休日も受け入れできる保育園を拠点として整備していきます。</p>			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①定員	40人	-	-	%	40人	40人	40人	40人	40人	40人	40人	40人	40人	40人		
②利用者数(延)	55人	86人	156.4	%	55人	55人	55人	55人	55人	55人	55人	55人	55人	55人		
③施設数	5カ所	2カ所	40.0	%	5カ所	5カ所	5カ所	5カ所	5カ所	5カ所	5カ所	5カ所	5カ所	5カ所		
総合評価	98.2			%												
事業費(予算/決算)	5,404千円	4,536千円														

成果・課題	休日の保育を行うことで、様々な就労形態の子育て家庭の支援に寄与した。なお、休日保育の定員については、平成27年から施行された子ども・子育て支援新制度への移行に伴い、施設の通常保育の利用定員数が休日保育の定員となるよう変更されたため休日保育としての利用定員の設定はなくなった。
今後の取組内容	休日保育について広く周知していくとともに、実施施設数を増やしていくよう呼びかけていく。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.11	一時預かり事業	所管課	こども施設運営課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	5.多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービスの充実
事業内容	パートタイムなどの短期就労や保護者の出産・疾病、リフレッシュ等による一時的な保育ニーズに応えるため、一時預かりを実施します。今後は、一時預かり事業をニーズにあわせて拡大していきます。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度						
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標					
①利用者数(延)	24,000人	22,175人	92.4	%	28,000人	28,000人	100.0	%	31,200人	31,200人	100.0	%	31,000人	31,000人	100.0	%	30,000人	30,000人	100.0	%
②				%				%				%				%				%
③				%				%				%				%				%
総合評価	92.4			%																

事業費(予算/決算)	91,890千円	88,553千円		—	千円	—	千円	—	千円	—	千円	—	千円	—	千円
------------	----------	----------	--	---	----	---	----	---	----	---	----	---	----	---	----

成果・課題	私立保育園での保育士配置等の事情で、一時預かりを実施園が休止した事によって昨年度より減少となった。	
今後の取組内容	平成29年度からは保育ルームを3ヶ所開設するなど、待機児童解消に向けて一時預かり事業の拡大を目指すものとする。	

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.12	預かり保育事業(幼稚園における在園児を対象とした一時預かり)	所管課	こども入園課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	5.多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービスの充実
事業内容	保護者のリフレッシュや就労等を支援するため、幼稚園の保育時間終了後における預かり保育を実施します。今後は、私立幼稚園全園で実施できるよう支援していきます。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度 数値目標	平成29年度 数値目標	平成30年度 数値目標	平成31年度 数値目標
	数値目標	実績	実績					
①利用者数(延)	64,356人	84,254人	130.9	%	65,059人	65,763人	66,466人	67,169人
②				%				
③				%				
総合評価	130.9			%				

事業費(予算/決算)	47,083千円	47,083千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
------------	----------	----------	------	------	------	------

成果・課題	利用者数が増加していることから幼児教育の振興及び保育園の待機児童対策を図ることができた。
今後の取組内容	待機児童の状況を踏まえながら就労型預かり保育未実施園に対して実施の協力依頼を行っていく。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.13	病児・病後児保育事業	所管課	こども施設運営課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	5.多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービスの充実
事業内容	<p>子どもが病氣回復期のため、通常通り保育園等を利用できない場合、医療機関等に併設された保育施設で一時的に保育を実施します。今後は、医療機関を中心に受け入れ施設を整備していきます。</p>			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標
①利用者数(延)	1,361人	1,225人	90.0%	1,435人	1,711人	2,440人	2,750人					
②			%									
③			%									
総合評価	90.0%											
事業費(予算/決算)	23,269千円	22,063千円		—千円	—千円	—千円	—千円	—千円	—千円	—千円	—千円	—千円

成果・課題	保育に欠ける病氣回復期の児童を預かることで、子育て家庭の支援に寄与した。市域全体で利用できるようにすること、利便性の向上を図り、あわせて利用しやすい制度として利用率の向上を図ることが必要。
今後の取組内容	病後児保育制度について、ホームページでの周知活動を継続していく。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.14	認可外保育園児補助金	所管課	こども入園課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	5.多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービスの充実
事業内容	待機児童の解消を含めた多様なニーズへの対応など認可外保育園の特徴を活かした保育サービスを活用していくため、認可外保育園に通う保護者へ補助金を交付し、経済的負担を軽減します。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標
①受給者数(実)	12,000人	12,967人	108.1	%	12,000人	12,000人	12,000人	12,000人	12,000人	12,000人	12,000人	12,000人	12,000人	12,000人	12,000人	12,000人
②				%												
③				%												
総合評価			108.1	%												
事業費(予算/決算)	231,723千円	231,473千円			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

成果・課題	待機児童の預け先として有効であり、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。
今後の取組内容	待機児童の保護者へ認可外保育園の紹介、補助金制度の案内をすることによって利用を促進させる。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	保育園の第三者機関評価事業		所管課	こども施設運営課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	5.多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービスの充実
事業内容	保育の質の向上や保護者からの信頼を高めるため、第三者評価機関による審査・評価を行います。 また、評価結果を認可保育園全体のものとして捉えて改善に取り組み、保育の質の向上を図ります。評価結果については、ホームページ等で広く公開します。			

指標	平成27年度		達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標		
① 第三者評価機関による審査・評価の実施(各年度内に実施する施設数)	1カ所/年	4カ所/年	400.0 %	1カ所/年	1カ所/年	1カ所/年	1カ所/年	1カ所/年	1カ所/年	1カ所/年	1カ所/年
②			%								
③			%								
総合評価			400.0 %								
事業費(予算/決算)	216千円	643千円		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円

成果・課題	北方保育園、アスク行徳及び本八幡、小学館アカデミーいちかわ南保育園の計4カ所の実施があった。 評価の結果はホームページの他、保育所の入口など見やすいところにも掲示され手に取って見れるようになっていた。 外部評価を実施することで客観的な評価に繋がりが、保育の質の向上と意識改革や協同性を高めることができた。	
今後の取組内容	第三者評価について、公定価格上の加算も含め広く周知していくとともに、実施施設数を増やしていけるよう呼びかけていく。	

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.16	こどもショートステイ事業(子育て短期支援事業)	所管課	子育て支援課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	5.多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービスの充実
事業内容	保護者の疾病・出産・出張等により、数日にわたり家庭において児童の養育が困難となった場合、宿泊施設で子どもを預かるサービスを実施します。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	実績	実績	数値目標	実績	実績	数値目標	実績	実績	数値目標	実績	実績
①利用者数(延)	333人	265人		79.6%	321人			312人			301人			292人		
②				%												
③				%												
総合評価				79.6%												

事業費(予算/決算)	1,847千円	1,847千円		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
------------	---------	---------	--	------	------	------	------	------

成果・課題	達成率は79.6%だが、平成26年度の利用状況を比較すると、利用者数(延)は115人から265人と増加している。委託施設が松戸市のため、利便性が悪い。						
今後の取組内容	利便性を考え、委託施設を検討。						

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.17	地域子育て支援センター事業	所管課	子育て支援課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	保育園等のノウハウと機能を活用した地域子育て支援センターを設置して、子育て中の親子の交流の場の提供と交流の推進、相談・援助、地域の子育て関連情報の提供、各種子育て教室等の開催および子育てサークルの支援を行います。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①施設数	11カ所	11カ所	100.0	%	11カ所	11カ所	11カ所	11カ所	11カ所	11カ所	11カ所	11カ所
②利用者数(延)	147,563人	113,768人	77.1	%	149,662人	144,755人	140,681人	136,625人				
③				%								
総合評価			88.5	%								

事業費(予算/決算)	87,364千円	87,348千円		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
------------	----------	----------	--	------	------	------	------	------

成果・課題	子育て親子のための交流、相談の場として広く活用されたが、それぞれの施設の広さ・地域に住んでいる子育て家庭数が一律ではないことから、センター間で利用者数にばらつきがあった。
今後の取組内容	市広報紙・ホームページ等による周知活動を継続して実施するとともに、地区を特定したPR活動も行っていく。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.18	親子つどいの広場事業	所管課	子育て支援課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容		子育て中の親子が気軽に集える場として、親子つどいの広場を設置し、子育て中の親子の交流の場の提供と交流の促進、相談・援助、地域の子育てに関連情報の提供および地域の支援者への講習を行います。		

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①施設数	4カ所	4カ所	100.0	%	3カ所	3カ所	3カ所	3カ所	3カ所	3カ所	3カ所	
②利用者数(延)	68,293人	45,427人	66.5	%	59,318人	57,373人	55,759人	54,151人				
③				%								
総合評価			83.3	%								

事業費(予算/決算)	20,521千円	20,496千円		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
------------	----------	----------	--	------	------	------	------

成果・課題	地域の中でより身近な、子育て親子の交流・情報交換の場として広く活用されたが、二俣幼稚園休園に伴う二俣地区利用者数の減少・八幡親子つどいの広場改修工事に伴う移転による利用者数の減少により、利用者数が目標の7割弱に留まった。						
今後の取組内容	市広報紙・ホームページ等による周知活動を継続して実施するとともに、地区を特定したPR活動も行っていく。						

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.19	子ども館運営事業(小学校就学前まで)	所管課	子育て支援課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容		児童福祉法にもとづく児童館とそれに準ずる施設を設置し、遊びの提供を行う乳幼児親子の居場所とするとともに、育児不安解消のための相談・情報提供を行います。 また、親子の関係づくり・仲間づくりのための親子活動、父親の育児参加促進のための父親支援、親育ち・親の子育て力向上のための各種講演会等を実施します。		

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①利用者数(延)	115,000人	72,315人	62.9	%	115,000人	115,000人	115,000人	115,000人	115,000人	115,000人	115,000人	115,000人
②施設数	15カ所	15ヶ所	100.0	%	15カ所	15カ所	15カ所	15カ所	15カ所	15カ所	15カ所	15カ所
③行事・イベント	4,250回	4001回	94.1	%	4,250回	4,250回	4,250回	4,250回	4,250回	4,250回	4,250回	4,250回
総合評価			85.7	%								
事業費(予算/決算)	42千円	64千円			— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円

成果・課題	<p>行事内容を見直し、季節感を取り入れた行事等を全館で実施。 妊娠、出産からの切れ目のない支援の一環として、全館にて「あつまれ5ヶ月赤ちゃん」を実施。 基幹館(3館)において、地域子育て支援拠点事業実施。授乳コーナーを全館に設置し環境整備を図った。</p>
今後の取組内容	<p>より安全で安心して過ごせる乳幼児親子の環境整備を行う。 孤立した親子や集団に馴染めない親子に寄り添うことで、仲間作りのための親子活動の支援を図る。 職員の相談に関するスキルの向上を目指し、研修等を行うことでより利用者からの育児不安等に関する相談等の対応が可能となるように努める。</p>

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.20 ファミリー・サポート・センター事業(子育て援助活動支援事業)	所管課	子育て支援課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	<p>育児の支援をしたい会員、育児の支援を受けたい会員、両方を利用したい会員を組織化し、子育てに関する人と人との相互援助活動として、保育園・幼稚園・放課後保育クラブへの送迎・送迎後の預かり等のサポートを行います。引き続き、協力・両方会員の確保を図っていきます。</p>		

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標
①利用者数(延)	13,985人	17,276人	123.5	%	14,361人	14,737人	15,113人	15,489人				
②				%								
③				%								
総合評価			123.5	%								

事業費(予算/決算)	24,442千円	23,557千円		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
------------	----------	----------	--	------	------	------	------	------

成果・課題	<p>平成26年度と比較し、育児の支援を受けたい会員(依頼会員)の実人数が173人増、利用者数(延)が1,121人増と、ニーズの増加に対応し、受け入れを拡大することができた。 一方、育児の支援をしたい会員(協力会員)は5人減となり、協力会員の確保が課題となっている。</p>						
今後の取組内容	<p>市広報紙・ホームページなどを活用して、市民に対し協力会員募集を呼びかけていく。</p>						

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.21	産後家庭ホームヘルプサービス	所管課	子育て支援課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	核家族で保護者の親族や近隣からの支援が十分に得られない家庭にあって、特に保護者が産後で一時的に家事、育児ができないとき、ヘルパーを派遣して、支援していきます。			

指標	平成27年度			平成28年度 数値目標	平成29年度 数値目標	平成30年度 数値目標	平成31年度 数値目標
	数値目標	実績	達成率				
①登録者数(延)	100人	163人	163.0 %	100人	100人	100人	100人
②			%				
③			%				
総合評価		163.0	%				

事業費(予算/決算)	2,803千円	2,227千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
------------	---------	---------	------	------	------	------

成果・課題	・登録者(申請者)は、100名を超え、数値目標はクリアしているが、まだ「この事業を知らなかった」「知っていたら利用したかもしれない」等の声も聞かれるので、周知方法を検討していく。
今後の取組内容	・利用人数を見ながら、定期的に広報に掲載していく。 ・利用のイメージがつきやすいように、利用者アンケートを実施し、「利用者の声」をHPなどに掲載していく。 ・以前から申し込み時に、相談窓口の紹介をしていたが、妊娠中から不安なことがあれば相談もできることを、意識して伝えていくよう、職員間でも確認する。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.22	すこやか応援隊事業	所管課	子育て支援課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	すこやかな親子の育ちを目的として、市内の様々な地域に向き、訪問・相談・情報提供などの活動を実施し、一人ひとりに合った支援をコーディネートしていく中で、地域に根ざした子育て支援を進めていきます。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①利用者数(延)	2,800人	2,848人	101.7	%	2,800人	2,800人	100.0	%	2,800人	2,800人	100.0	%	2,800人	2,800人	100.0	%
②				%				%				%				%
③				%				%				%				%
総合評価			101.7	%												

事業費(予算/決算)	79千円	79千円	100.0	%	79千円	79千円	100.0	%	79千円	79千円	100.0	%	79千円	79千円	100.0	%
------------	------	------	-------	---	------	------	-------	---	------	------	-------	---	------	------	-------	---

成果・課題	・数値目標は、達することができた。来年度はすこやか応援隊事業の見直しをし「すこやかひろば」の開催場所や回数の検討をしていく。															
今後の取組内容	「すこやかひろば」のほか、地域ケアなどにも出向き周知を図り、利用者数を増やしていく。															

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.23	子育てサークル育成事業	所管課	子育て支援課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	子育てにかかわるサークル活動を行っている団体について、登録制によって活動を支援するとともに、ホームページ等により広く情報を公開することで市民活動の活性化を図ります。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①登録サークル	60団体	49団体		81.7 %	60団体	60団体	60団体	60団体	60団体	60団体	60団体	60団体
②				%								
③				%								
総合評価				81.7 %								

事業費(予算/決算)	-	5千円	-	1千円	-	1千円	-	1千円	-	1千円	-	1千円
------------	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----

成果・課題	・支援依頼があればサークルに出向き支援をし、運営の相談にも乗り、サークルが継続していけるように関わっている。 ・子育てサークル代表者研修会を開催し、参加した市民方に代表者から直接周知ができた。子育てサークル同士の交流を図っている。 ・子どもたちの成長に伴い、解散してしまうサークルもあり、新規サークルも立ち上がるが、登録数が増えないことが課題である。											
今後の取組内容	・登録申請時には、必ず代表者と顔を合わすので、この機会を大切にサークル活動が継続して運営していけるように相談などに応じていく。 ・新規サークルが立ち上がるように、「すこやかひろば」等でも声をかけ、スムーズな運営ができるように手助けをしていく。											

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名 No.24	いちかわ子育て支援ボランティア養成事業	所管課	子育て支援課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	地域で子育て支援を行いたいボランティアを養成するため、「子育て支援ボランティア養成講習会」を開催するとともに、修了後の活動をコーディネートすることによって、地域の子育て力の向上を図っていきます。		

指標	平成27年度		達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標		
①受講者数(実)	30人	48人	160.0 %	30人	30人	30人	30人	30人	30人	30人	30人
②講習会の開催	5回	5回	100.0 %	5回	5回	5回	5回	5回	5回	5回	5回
③			%								
総合評価			130.0 %								

事業費(予算/決算)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

成果・課題	・「すこやかひろば」などの子育て支援事業を円滑に進める上で実践力になっている。 ・チラシのレイアウト、広報記事文面、周知場所の拡充等、周知活動を見直したことで、31名(キャンセル5名、1日のみ参加4名含む)と過去最多の応募があった。										
今後の取組内容	・継続して活動してもらえるように、活動場所等の情報提供を行っていく。 ・定期的にフォローアップ研修を開催して、子育てボランティアとしての意識向上とやりがいにつなげる。										

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名 No.25	青少年と乳幼児親子のふれあい交流事業	所管課	子育て支援課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	こども館における健全育成活動の一環として、児童生徒が乳幼児親子とのふれあい・育児体験をすることにより、命の大切さ・親子の絆を学ぶ活動を実施します。		

指標	平成27年度		達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標
①実施回数	50回	32回	64.0%	50回	50回	50回	50回	50回	50回	50回	50回
②参加者数(小学生)(延)	30人	12人	40.0%	30人	30人	30人	30人	30人	30人	30人	30人
③参加者数(中・高校生)(延)	1,200人	710人	59.2%	1,200人	1,200人	1,200人	1,200人	1,200人	1,200人	1,200人	1,200人
④参加者数(乳幼児親子)(延)	1,300人	987人	75.9%	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人
総合評価			59.8%								

事業費(予算/決算)	150千円	198千円	—	千円	—	千円	—	千円	—	千円	—	千円
------------	-------	-------	---	----	---	----	---	----	---	----	---	----

成果・課題	学校の状況・教諭の異動等により実施校に変化はあるが、中高生にとって乳幼児と関わることの大切さを伝えていくことで、事業の継続がなされている。実施後のアンケート結果からも、保護者は地域の中高生とのふれあいを求めている方が多いことがわかった。また、育児を振り返るきっかけになり、子どもへの愛情を更に深めたいという意見もあり、命の大切さと親子の絆を深める機会となった。中高生においても幼児親子とふれあいことで、とりわけ男子は妊娠期の大変さや女子は母性への尊さなどへの興味・関心が深まった。
今後の取組内容	ホームページや子育て支援施設などへの情報提供、Facebookの配信等を行うことにより、新たな実施校を増やし命の大切さ親子の絆を学ぶ機会の拡大を図り、主任児童委員の協力を得ながら取り組んでいく。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名 No.26	保育園での子育て支援(地域交流)	所管課	ことも施設運営課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	保育園に通園していない未就学児童等を含め、園庭開放、親子のふれあい遊びの支援等を行い、保育園と地域および地域住民同士の交流を図ります。		

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①参加者(延)	7,500人	7,492人	99.9%	7,600人	7,700人	7,800人	7,900人						
②地域交流の実施	640回	577回	90.2%	650回	660回	670回	680回						
③実施施設	75カ所	55カ所	73.3%	75カ所	75カ所	75カ所	75カ所						
総合評価			87.8%										
事業費(予算/決算)	11,984千円	6,514千円		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	

年度当初の参加人数が少ない4,5月の地域交流の日程をホームページ等で利用者に早めに周知したが、昨年度と変わらない利用率であった。利用者のニーズを把握し、それを反映させていきたい。0歳児の参加者が多く参加することを考慮して、園庭と室内の両方で遊べる企画をしたことで、安心して参加してもらうことができた。

地域交流をさらに充実させるために、参加者のニーズを把握し、それを反映させる企画を行う。栄養士や看護師の専門性を活かした会を企画し、サポート体制を整えていく。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.27	幼稚園での子育て支援(園庭開放)	所管課	就学支援課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	幼稚園の地域交流として、幼稚園に通園していない未就学児童を対象に、園庭を解放し、親子で遊んだり、育児について親同士が話し合える場とします。 また、育児についての不安や悩みを受け止め、子育て支援の場とします。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①園庭開放の実施数	815回	645回	79.1	%	700回	700回	700回	700回	700回	700回	700回	700回
②園庭開放の実施設	7カ所	7ヶ所	100.0	%	6カ所	6カ所	6カ所	6カ所	6カ所	6カ所	6カ所	6カ所
③				%								
総合評価			89.6	%								

事業費(予算/決算)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

成果・課題	<p>市立幼稚園7園において、園庭開放を実施し、7園で22,462人(延)と多くの参加が得られた。 28年度は公立幼稚園7園から6園に減るため、目標数値の見直しが必要と思われる。</p>											
今後の取組内容	<p>今後は、長期休業中も園庭開放を実施する方向で検討して行きたい。</p>											

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.28	中高年ボランティア事業(保育園)	所管課	子ども施設運営課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	社会を担ってきた中高年を保育ボランティアとして受け入れ、ふれあい遊びや絵本の読み聞かせ、草木の世話等を通じて、保育園児との世代間交流を図ります。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標		
①ボランティア登録者数	100人	58人	58.0%	100人	100人	100人	100人	100人	100人	100人	100人	100人	
②活動件数	3,000回	1,570回	52.3%	3,000回	3,000回	3,000回	3,000回	3,000回	3,000回	3,000回	3,000回	3,000回	
③実施施設	30カ所	23カ所	76.7%	30カ所	30カ所	30カ所	30カ所	30カ所	30カ所	30カ所	30カ所	30カ所	
総合評価	62.3%												
事業費(予算/決算)	0千円	0千円		0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	

成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・核家族が増えている中、中高年ボランティアと触れ合うことは、保育園の子どもたちが多様な人間関係の構築をする上でよい経験となっている。また、中高年世代の生きがいになっている。 ・地域の中高年ボランティア参加により地域を巻き込んだ子育ての向上を図っていく。
今後の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中高年ボランティアの取組みの意義を周知し、広く参加を呼びかける。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.29	マイ保育園登録制度事業	所管課	こども施設運営課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容		地域で継続した子育て支援を実施し、産前産後うつや育児不安などを解消していくため、身近な保育園に登録して、妊婦時代には子育て体験、産後は育児相談や地域との交流などの支援を保育園で実施していきます。		

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①登録者数	420人	304人		72.4%	420人	420人	420人	420人	420人	420人	420人	420人
②実施施設	21カ所	23カ所		109.5%	21カ所	21カ所	21カ所	21カ所	21カ所	21カ所	21カ所	21カ所
③				%								
総合評価				91.0%								
事業費(予算/決算)	0千円	0千円			0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円

成果・課題	私立保育園1園とこども園1園が加わり、合計23園となった。登録者によって保育園に求めているものが違うため、一人一人の悩みやニーズに即した保育園体験となるよう、関わっていく中で求めているものを十分に聞き取り、ニーズに合わせた支援ができるようにする。
今後の取組内容	登録者と密に継続して連絡を取ることで、繋がりを深め、保育園を身近な存在だと思ってもらえるようにする。子育てメッセージや交差点などでマイ保育園登録事業のPRをし、支援を必要としている家庭への登録増に繋げる。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名 No.30	青空子ども広場事業	所管課	公園緑地課、子育て支援課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	就学前の子どもが伸び伸びと遊べる「青空子ども広場」を公園の少ない地域等に設置します。		

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標
①施設数	2カ所	1ヶ所	50.0	%	4カ所	6カ所	8カ所	10カ所								
②				%												
③				%												
総合評価			50.0	%												

事業費(予算/決算)	8,892千円	12,476千円		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
------------	---------	----------	--	------	------	------	------	------

成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年より実施している事業で、これまで3ヶ所の広場整備をしている。年2ヶ所の整備を目標としているが、整備に要する土地の確保が課題である。 						
今後の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 土地の確保については、外環道路の残地、広報ホームページによる募集等で検討している。 						

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.31	子ども家庭総合支援センター事業	所管課	子育て支援課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	7.子育て相談・情報提供の充実
事業内容	子どもと子育て家庭に関する総合相談窓口として、保健・福祉・教育等に関する基本的な問い合わせやサービスの紹介に応じるとともに、手続きや相談が必要な場合には、関係機関と連携して適切な支援を実施します。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度 数値目標	平成29年度 数値目標	平成30年度 数値目標	平成31年度 数値目標
	数値目標	実績	実績					
①問合せ・相談件数 (延)	5,000件	6,777件	135.5	%	5,000件	5,000件	5,000件	5,000件
②				%				
③				%				
総合評価			135.5	%				

事業費(予算/決算)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

成果・課題	子育てに関する総合相談窓口として浸透してきた。			
今後の取組内容	事業の周知活動と、関係機関との連携による支援を継続していく。			

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.32	子育てガイドブック	所管課	子育て支援課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	7.子育て相談・情報提供の充実
事業内容	本市における子ども・子育てに関する保健・福祉・教育・医療などの情報を網羅した情報誌を隔年で発行し、子育てにかかる行政の総合的な情報をわかりやすく提供します。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績			数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標		
①発行部数	20,000冊	20,000冊	100.0	%	—	20,000冊	—	20,000冊	—	—	20,000冊	
②				%								
③				%								
総合評価			100.0	%								

事業費(予算/決算)	1,814千円	1,490千円	—	千円	—	千円	—	千円	—	千円
------------	---------	---------	---	----	---	----	---	----	---	----

成果・課題	・子育て支援サービスを包括的に周知する内容となっている。 ・27年度版は父親の子育てに関する特集ページを新設し、ワーク・ライフ・バランスなどの啓発に努めた。子育て応援サイト「いちかわっこWEB」のスマートフォン化に伴い、子育てガイドブックを電子化し利用者の利便性の向上を図った。										
今後の取組内容	・隔年発行となることから、広報いちかわや市公式Webサイト、いちかわっこWEBと連携し情報の補足に取り組む。										

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.33	子育て応援サイト事業	所管課	子育て支援課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	7.子育て相談・情報提供の充実
事業内容	子育て応援サイト「いちかわっこWEB」により、行政情報のみならず、NPOやサークル等によって実施されている様々な子育て支援に関する民間情報を提供します。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標			
①アクセス数(月平均)	10,000件	13,901件	139.0	%	10,500件	10,500件	11,000件	11,000件	11,500件	11,500件	12,000件	12,000件
②				%								
③				%								
総合評価			139.0	%								
事業費(予算/決算)	4,241千円	4,198千円			—	—	—	—	—	—	—	—

成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・PCサイトを開いて閲覧する余裕のない方に向けた、スマートフォン用サイトを構築し、利用者の利便性の向上を図ることができた。 ・いちかわっこWEBを利用して情報発信する団体は増加傾向にあるものの、引き続き掲載内容の充実を図る必要がある。
今後の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・28年度開設予定の「いちかわっこ予防接種ナビ」と相互リンクすることで、利用者の利便性の向上を図る。 ・サークル等に周知しいちかわっこWEBを利用して情報発信する団体を増やす。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.34	利用者支援事業	所管課	子育て支援課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	7.子育て相談・情報提供の充実
事業内容	<p>子育てナビゲーターが、幼稚園、保育園等の子育て関係機関及び施設等と連絡調整を図り情報収集を行い、子ども及びその保護者に合った幼稚園、保育園等の紹介や申請方法等をご案内するとともに、子育てに見通しをもつための子育てライブプランのイメージを提案し、就学前の子どもの所属先についての情報を幅広く提供していきます。</p> <p>上記の事業を本庁において「子育てナビ八幡」、行徳支所において「子育てナビ行徳」として、市内全域を対象に実施します。また、「出張子育てナビ」として地域に出向き、市内全域に利用者支援のサービスを展開します。</p>			

指標	平成27年度		達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①実施箇所数	2カ所	2ヶ所	100.0 %	2カ所	2カ所	2カ所	2カ所	2カ所	2カ所	2カ所	2カ所
②子育てナビ利用者数(延)	1,500人	6,330人	422.0 %	1,550人	1,600人	1,600人	1,600人	1,600人	1,600人	1,600人	1,600人
③出張子育てナビ利用者数(延)	450人	699人	155.3 %	450人	450人	450人	450人	450人	450人	450人	450人
総合評価			225,8 %								

事業費(予算/決算)	2,370千円	2,345千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
------------	---------	---------	------	------	------	------

成果・課題	平成26年度と比較し、利用者が増加している。核家族世帯で地域情報が得られない世帯の保育園・幼稚園の情報収集として、また妊娠期等、子育ての早い時期から子どもの保育園・幼稚園探しをする傾向にあり利用者数が増加している。
今後の取組内容	2ヶ所の窓口以外でも地域に向く『出張子育てナビ』では、今後もホームページや広報、関係機関のポスター掲示等行い、身近な場所での支援も継続して増やしていく。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.35	児童手当	所管課	こども福祉課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	8.経済支援の充実
事業内容	子育て家庭の生活の安定と児童の健全な育成を図るため、中学校修了前の児童を養育している保護者に手当を支給します。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標
① 受給児童数(延)	710,000人	702,050人		98.9%	710,000人	710,000人		710,000人	710,000人		710,000人	710,000人		710,000人	710,000人	
②				%												
③				%												
総合評価				98.9%												
事業費(予算/決算)	7,355,575千円	7,332,390千円			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

成果・課題	(成果)15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童を監護している保護者に対し手当を支給し、次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援した。 (課題)各種届出の遅れにより返還額が発生する場合があります、適正な支出の妨げになっている。
今後の取組内容	運用上、疑義が生じた場合には、逐次千葉県担当課に確認を求めながら実施し、誤りなきよう心掛ける。また、手当の請求時等に各種届出についての必要性を説明することにより、返還額の発生を抑制する。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 < 平成27年度 >

事業名	No.36	子ども医療費助成	所管課	子ども福祉課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	8.経済支援の充実
事業内容		子どもの健やかな成長を願い、子育て家庭の経済的負担を軽減するため、子どもの医療費(保険適用分)の一部を助成します。		

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標
①助成対象者数(実)	53,959人	54,535人	54,535人	101.1%	53,959人	53,959人	53,959人	53,959人	53,959人	53,959人	53,959人	53,959人	53,959人	53,959人	53,959人	53,959人
②				%												
③				%												
総合評価				101.1%												
事業費(予算/決算)	1,290,826千円	1,341,161千円	1,341,161千円		1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円

成果・課題	(成果)子どもの健全な育成と子育て家庭の経済的負担の軽減をすることにより、子どもの福祉の増進に寄与することができた。 (課題)受給券の年度更新にあたり、保護者の所得が不明な場合、システムによる受給券の交付ができないことから、効率的な発行ができず申請者に対してもスムーズな対応ができない。
今後の取組内容	受給券発行するにあたり、所得に関する書類の確認が必要のため、課税証明書等の提出を勧奨・通知・ホームページ・広報等で周知を図り、システムによる効率的な受給券の発行に努める。 千葉県補助制度における子ども医療費助成の補助対象の拡大及び補助率の引き上げとともに、法律の整備について国に働きかけるよう、引き続き要望する。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.37	私立幼稚園就園奨励費補助金	所管課	こども入園課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	8.経済支援の充実
事業内容	公立幼稚園と私立幼稚園保育料の格差是正および保護者の経済的負担の軽減を図るため、保護者に補助金を交付します。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①受給者数(実)	5,000人	4,489人		89.8%	5,000人	5,000人		5,000人	5,000人		5,000人	5,000人		5,000人		
②				%												
③				%												
総合評価				89.8%												
事業費(予算/決算)	579,362千円	578,608千円			—千円	—千円		—千円	—千円		—千円	—千円		—千円		

成果・課題	幼稚園就園奨励費補助制度の支援を行い、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。
今後の取組内容	引き続き、補助金制度を継続して取り組んでいく。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名 No.38	幼稚園類似施設園児補助金	所管課	こども入園課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	8.経済支援の充実
事業内容	幼稚園類似施設を利用する保護者の経済的負担軽減を図るため、所得区分に応じて補助金を交付します。		

指標	平成27年度		達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標		
①受給者数(実)	800人	599人	74.9%	800人	800人	800人	800人	800人	800人	800人	800人
②			%								
③			%								
総合評価			74.9%								
事業費(予算/決算)	16,975千円	16,432千円		—千円	—千円	—千円	—千円	—千円	—千円	—千円	—千円

成果・課題	保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。
今後の取組内容	引き続き、補助金制度を継続して取り組んでいく。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.39	奨学資金給付事業	所管課	就学支援課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	8.経済支援の充実
事業内容	高等学校および高等専門学校等の課程を修得するに際し、経済的理由により修学が困難な生徒に奨学資金を支給し、教育の機会均等を図ります。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	実績	実績	数値目標	実績	実績	数値目標	実績	実績	数値目標	実績	実績
①奨学生数	136人	136人	136人	100.0 %	136人	136人	136人	136人	136人	136人	136人	136人	136人	136人	136人	136人
②				%												
③				%												
総合評価				100.0 %												
事業費(予算/決算)	18,612千円	18,576千円	18,576千円		18,612千円	18,576千円	18,576千円	18,612千円	18,576千円	18,576千円	18,612千円	18,576千円	18,612千円	18,576千円	18,612千円	18,576千円

成果・課題	<p>〈成果〉 平成27年3月2日～31日に募集を行い、国立110人、私立70人、計180人の応募があった。5月21日に市川市奨学生選考委員会を開催し国立公立82人、私立54人、計136人に支給した。 〈課題〉 当初予算を上回る申請があったが、奨学生の選考にあたっては、所定の基準(条例)に基づき奨学生選考委員会において決定したため、奨学資金を支給することができない場合があった。</p>
今後の取組内容	<p>国の動向を見ながら、制度見直しの検討や予算措置に努める。</p>

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.40	入学準備金貸付事業	所管課	就学支援課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	8.経済支援の充実
事業内容	経済的理由により入学準備金の調達が困難な保護者に対し、入学費用の一部を無利子で貸し付けます。			

指標	平成27年度		達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標				
①貸付件数	117件	84件	71.8%	117件	117件	117件	117件	117件	117件	117件	
②			%								
③			%								
総合評価			71.8%								

事業費(予算/決算)	42,800千円	30,800千円	—	千円	—	千円	—	千円	—	千円
------------	----------	----------	---	----	---	----	---	----	---	----

平成27年10月1日～平成28年2月1日に申請受付を行い、97件の申請があり、収入要件超過1件及び不合格による辞退等12件を除く84件全てに、入学準備金の貸付を行った。
 に、入学準備金の貸付を行った。
 目標数値に対し、達成率は低かったが、要件を満たす貸付希望者には全て貸付を行っており、一定の評価はあったものと評価している。
 申請件数が年を追うごとに減縮し、平成26年度の96件、平成27年度には97件と横ばいになっている。平成22年度から連帯保証人に収入要件を設けたことから利用減となる要因はあったが、国の教育ローンや日本学生支援機構等の制度が充実しており、利用が分散されていることが実績減の主な理由と考えられている。

AO・推薦入試等早期に入学手続を必要とする者には、通常の申請期間を繰上げ、入試合格後、緊急に貸付を必要とする者には、通常の申請期間を繰下げ、柔軟に運用している。
 周知活動については、貸付を必要とする者に制度が周知されるよう、これまでと同様に継続していく。
 ・学校及び市施設での申請書やチラシの配付
 ・「広報いらかわ」や市HPへの記事掲載

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.41	所管課	就学支援課
基本目標	保護児童生徒援助費 3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	8.経済支援の充実
事業内容	経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し、学校教育に必要な費用の一部を援助します。		

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標
①認定者数	2,989人	2,818人		94.3%	2,989人			2,989人			2,989人			2,989人		
②				%												
③				%												
総合評価				94.3%												
事業費(予算/決算)	239,551千円	223,999千円			— 千円			— 千円			— 千円			— 千円		

成果・課題	全児童・生徒の保護者へお知らせ文の配布を行った。申請のうち認定者数は、小学校1,705名、中学校1,113名、合計2,818名。学用品、学校給食、校外活動費等の支給をした。
今後の取組内容	

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.42	特別支援教育就学奨励費	所管課	就学支援課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	8.経済支援の充実
事業内容	特別支援学級および通級指導教室に通学している児童・生徒の保護者に対し、就学に必要な費用の一部を支給します。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①認定者数	297人	319人	107.4	%	297人	297人	297人	297人	297人	297人	297人	297人	297人	297人		
②				%												
③				%												
総合評価			107.4	%												
事業費(予算/決算)	10,181千円	10,366千円			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

成果・課題	6月に対象児童・生徒の保護者へ申請書の配布を行い、申請者を対象に審査を行った。小学校190名、中学校129名、合計319名を区分1～3に認定し区分に応じた費目を支給した。
今後の取組内容	

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.43	母子健康手帳交付	所管課	保健センター健康支援課
基本目標	4.子どもと子育て家庭の健康づくり		施策の方向	9.母子保健の充実
事業内容	<p>出産までの母の健康状態のチェック、出産した施設・病院の記録、出産後の赤ちゃんの手帳の発行時、面接にて健康等に関する相談や、妊娠および乳幼児に 状況を記録する母子健康手帳を交付します。また、保健センターではこの手帳の発行時、面接にて健康等に関する相談や、妊娠および乳幼児に 関する行政情報、保健・育児情報の提供を併せて行います。</p>			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標
①利用者数(実) 9カ所で交付	4,371人	4,928人		112.7 %	4,202人	4,065人		3,930人	3,823人							
②				%												
③				%												
総合評価				112.7 %												
事業費(予算/決算)	463,091千円	452,609千円			— 千円	— 千円		— 千円	— 千円							

成果・課題	<p>将来人口推計をもとに試算していたが、予想に反して大きく伸びを示した。専門職による母子健康手帳交付割合を増やすことが課題である。</p>
今後の取組内容	<p>妊娠前から子育て期において、母子保健や育児に関する様々な悩み等に保健師・看護師が専門的見地から相談支援等を実施し、 切れ目ない支援体制を構築する。平成28年8月1日に開設する4カ所の母子保健相談窓口アイティに加え、本窓口開設により専門職 による面接割合は95%となる見込みである。</p>

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 < 平成27年度 >

事業名	No.44	妊婦・乳幼児健康診査事業	所管課	保健センター健康支援課
基本目標	4.子どもと子育て家庭の健康づくり		9.母子保健の充実	
事業内容	妊婦・乳児に対して一般健康診査を医療機関に委託して実施し、異常の有無を早期に把握し適切な指導を行い、健康の保持増進を図ります。これについては、母子健康手帳発行時に受診票を配布して費用助成を行います。 また、1歳6か月児・3歳児健康診査を実施し、疾病の早期発見・早期治療に努めるとともに、精神的・身体的発育発達、基本的な生活習慣、歯科衛生など多角的な健診を行い、幼児の健全な発育・発達を促します。			

指標	平成27年度		達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標		
①受診回数(妊婦一般健康診査)	14回	14回	100.0 %	14回	14回	100.0 %	14回	14回	100.0 %	14回	14回	100.0 %	14回	14回	100.0 %
②受診回数(乳児一般健康診査)	2回	2回	100.0 %	2回	2回	100.0 %	2回	2回	100.0 %	2回	2回	100.0 %	2回	2回	100.0 %
③実施回数(1歳6か月児健康診査)	48回	48回	100.0 %	48回	48回	100.0 %	48回	48回	100.0 %	48回	48回	100.0 %	48回	48回	100.0 %
④実施回数(3歳児健康診査)	48回	48回	100.0 %	48回	48回	100.0 %	48回	48回	100.0 %	48回	48回	100.0 %	48回	48回	100.0 %
総合評価			100.0 %												

事業費(予算/決算)	463,091千円	452,609千円		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
------------	-----------	-----------	--	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

成果・課題	<p>①②千葉県外の医療機関との契約事務の負担が大きいが、それにより市民サービスの充実が図られている。転入者も漏れることなく健診を受けられるよう転入時の周知が必要である。</p> <p>③④2カ所の会場で合わせて月4回実施し、対象者の受診の機会を確保している。また、受診対象月より一定期間、健診未受診であった場合は、受診勧奨の通知を出しており、これにより転入者への対応も図れている。対象者数の増加に対する、円滑な運営が課題となっている。</p>
今後の取組内容	<p>①②千葉県外でも受診票利用での健診を受けられるよう、国に要望していく。また、転入者へのサービスが低下しないよう、市民課等と連携しつつ周知を徹底させる。</p> <p>③④健診の待ち時間を工夫し、受診者の負担を軽減していく。</p>

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.45	母子訪問事業(乳児家庭全戸訪問事業)	所管課	保健センター健康支援課
基本目標		4.子どもと子育て家庭の健康づくり	施策の方向	9.母子保健の充実
事業内容	妊娠・出産・育児に対する不安を軽減するとともに疾病の予防・健康の増進を図るため、地区担当保健師が対応します。妊娠届出書をもとに支援が必要な方や希望する方へ妊婦訪問、出生連絡票をもとに新生児および1～2か月児のいる家庭の全戸訪問、また希望者や育児相談事業、健康診査、健康教育等から支援が必要なご家庭に訪問し、個別あるいはご家庭のニーズに応じた相談・指導を行います。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①利用者数(実)	3,818人	4,207人	110.2	%	3,699人	3,583人	3,495人	3,383人				
②				%								
③				%								
総合評価			110.2	%								

事業費(予算/決算)	18,307千円	17,265千円	—	千円	—	千円	—	千円	—	千円
------------	----------	----------	---	----	---	----	---	----	---	----

成果・課題	平成27年度出生数4,521人に対し4,207人に訪問を実施した(93.1%)。長期里帰りや入院中などで、事業における訪問予定期間に訪問実施できないケースについては、電話などで対応している。課題としては、主に、虐待リスクの低いケースを定数外職員が訪問しているが、定数外職員のマンパワーが足りず担いきれていない現状がある。										
今後の取組内容	高い訪問実施率を維持できるよう、全戸訪問への理解と周知を継続的に行う。また、定数外職員のマンパワーの確保を行うとともに、効率的に訪問実施できるようスケジュールの調整や訪問者のスキルアップを行っていく。										

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.46	保健推進員活動事業	所管課	保健センター健康支援課
基本目標		4.子どもと子育て家庭の健康づくり	施策の方向	9.母子保健の充実
事業内容	保健推進員が全戸訪問を行い、市民と行政のパイプ役として保健事業のPR、健康相談窓口の案内、保護者に対する4か月赤ちゃん講座への参加の呼びかけ等を行い、市民の健康の保持・増進が図られるよう支援活動を推進します。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①保健推進員	150人	122人	81.3	%	150人	150人	150人	150人	150人	150人	150人	150人
②訪問対象件数	3,818人	3,530人	92.5	%	3,699人	3,583人	3,495人	3,383人				
③				%								
総合評価	86.9			%								
事業費(予算/決算)	6,824千円	6,525千円			— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円

成果・課題	前年度に比べて微減の人数での実施となった。訪問について、気になる保護者や居住不明のケースなどは随時保健センターへつなぐ活動が実施できた。多くの推進員は仕事や孫の世話、介護等を兼務している方が多く、新しい方を探すのが困難になってきている課題がある。
今後の取組内容	毎月の連絡会等を活用し、健康づくりや子育て支援に現職の発掘を現職の推進員と共に行っていく。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.47	母親学級・両親学級	所管課	保健センター健康支援課
基本目標	4.子どもと子育て家庭の健康づくり		施策の方向	9.母子保健の充実
事業内容	初めて出産を経験する家庭が安心して出産を迎えられるように、妊娠中の過ごし方・栄養・出産・育児についての講義や沐浴実習等を実施します。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①母親学級参加者数(延) 2カ所で実施	450人	356人	79.1%	430人	390人	375人	365人					
②両親学級参加者数(延) 2カ所で実施	1,530人	1,923人	125.7%	1,470人	1,430人	1,380人	1,340人					
③			%									
総合評価			102.4%									

事業費(予算/決算)	6,286千円	5,843千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
------------	---------	---------	------	------	------	------

成果・課題	参加者に関して、両親学級は漸増し、母親学級は2日間1コースの平日開催という事も漸減している。内容に関しては、母親学級、両親学級の参加者アンケート結果に大差はなく好評であるが、あかちゃんのお世話に関する実習をさらに希望されている。また、産後の訪問時の相談状況からみると、母のメンタルヘルスやあかちゃんの泣きへの理解を深める必要性があると考えられる。
今後の取組内容	平日土日、開催内容を統一し参加者の選択肢を増やすことで、平日参加者の増加を図る。学級内容を沐浴などのあかちゃんのお世話に関する実習時間を多くとり、参加者同士の交流を図るとともに、産後の母のメンタルヘルスと育児に重点をおいたものへ変更する。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.48	4か月赤ちゃん講座	所管課	保健センター健康支援課
基本目標		4.子どもと子育て家庭の健康づくり	施策の方向	9.母子保健の充実
事業内容	疾病の早期発見・健康保持を図るための支援として、集団で発育、発達、基本的な生活習慣および離乳食の進め方等の講義、計測、個別相談を実施します。また、保護者の育児に関する孤立化の防止を支援します。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①参加組数(実)	3,000組	3,011組		100.4%	3,000組			3,000組			3,000組			3,000組		
②開催回数	84回	84回		100.0%	84回			84回			84回			84回		
③				%												
総合評価				100.2%												
事業費(予算/決算)	4,880千円	4,585千円			—千円			—千円			—千円			—千円		

成果・課題	7会場にて講座を実施。年々参加者は微増傾向にある。発達の節目の時期である生後4か月の時期に今後の子育てに役立つ講義ができ、個別相談にて育児不安を緩和し、虐待予防に努めた。親同士の交流の場になっていることから、育児の孤立化予防にもなっている。保育もあるため兄弟のいる家庭にも参加しやすい講座となっている。会場指定をしていない為、当日の来所人数の増減がある。予想以上の来所者がある際の保育を含めた円滑な運営が課題。	
今後の取組内容	スタッフ間で密な連携を図り、きめ細かい支援に努める。	

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.49	所管課	保健センター健康支援課
基本目標	4.子ども子育て家庭の健康づくり	施策の方向	9.母子保健の充実
事業内容	乳幼児の健やかな成長を目指し、保護者の育児に対する不安を軽減するため、離乳食(1回食・2回食)の進め方の講義と実演・試食を実施します。		

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標		
①参加者数(1回食) (延)	1,250人	1,322人		105.8%	1,250人	1,250人		1,250人	1,250人		1,250人	1,250人		1,250人	1,250人	
②開催回数(1回食)	54回	54回		100.0%	54回	54回		54回	54回		54回	54回		54回	54回	
③参加者数(2回食) (延)	1,000人	1,155人		115.5%	1,000人	1,000人		1,000人	1,000人		1,000人	1,000人		1,000人	1,000人	
④開催回数(2回食)	54回	52回		96.3%	54回	54回		54回	54回		54回	54回		54回	54回	
総合評価				104.4%												

事業費(予算/決算)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

成果・課題	離乳食に必要な知識・技術の提供及び、保護者同士の交流により不安の軽減を図った。定員に対し希望者が多く、キャンセル待ち対応となりました。定員を超え、教室に参加できない保護者には個別に資料配布と説明を行った。
今後の取組内容	教室実施回数を増やす等、参加を希望するすべての親子を受け入れられるよう努める。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.50	妊婦栄養教育	所管課	保健センター健康支援課
基本目標	4.子どもと子育て家庭の健康づくり		施策の方向	9.母子保健の充実
事業内容	妊娠中の食生活について、夫婦一緒に学ぶことをきっかけに、妊婦自身の健康と生まれてくる赤ちゃんを含めた家族の健康づくりにつなげるため、講義、グループワーク等を実施します。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①参加者数(延)	120人	167人	139.2	%	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人
②開催回数	12回	14回	116.7	%	12回	12回	12回	12回	12回	12回	12回	12回
③				%								
総合評価				127.9								
事業費(予算/決算)	3,197千円	2,820千円			—	—	—	—	—	—	—	—

成果・課題	27年度よりパパママ栄養クラスの事業名で土曜開催「パパママの日」、平日開催「ママの日」と実施し、参加者の選択肢の拡大を図った。調理実習からグループワーク中心の試食スタイルに内容を変更した。そのため、男性が参加しやすくなり土曜の「パパママの日」の参加者増が見られた。平日「ママの日」の参加者が伸びないのが課題である。	
今後の取組内容	土曜「パパママの日」平日「ママの日」とともに、参加者増加のため周知方法や実施回数を検討していく。	

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.51	妊婦歯科健診・歯みがきレッスン	所管課	保健センター健康支援課
基本目標	4.	子どもと子育て家庭の健康づくり	施策の方向	9.母子保健の充実
事業内容	妊婦歯科健診: 歯科医師によるむし歯や歯肉の健診と相談、歯科衛生士による歯垢染め出しと歯みがき指導を実施します。 歯みがきレッスン: 歯科衛生士による年齢別歯みがき指導を実施します。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①妊婦歯科健診参加者数(延)	240人	254人	105.8%	240人	240人	240人	240人	240人	240人	240人	240人	240人
②歯みがきレッスン参加者数(延)	2,000人	1,750人	87.5%	2,000人	2,000人	2,000人	2,000人	2,000人	2,000人	2,000人	2,000人	2,000人
③			%									
総合評価			96.7%									
事業費(予算/決算)	1,349千円	1,349千円		1,349千円	1,349千円	1,349千円	1,349千円	1,349千円	1,349千円	1,349千円	1,349千円	1,349千円

成果・課題	妊婦歯科健診が増となった。年齢別歯みがきレッスンにおいては夏季限定の夏休み歯みがきレッスンは夏休みの夏休み歯みがきレッスンは横ばいであった。周知啓発の工夫が必要。
今後の取組内容	妊婦歯科健診については、母子の歯の健康の最初の関わりとなるので、つぎにもつなげられるように工夫していきたい。また、年齢別歯みがきレッスンでは、子どもががんばっている姿を保護者がみて子どもにことばがけをしているので、大切な時間として事業を展開していきたい。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.52	育児相談	所管課	保健センター健康支援課
基本目標	4.子どもと子育て家庭の健康づくり		施策の方向	9.母子保健の充実
事業内容	育児不安の軽減を図ることを目的に、保健・栄養・歯科衛生士に関して保健師、管理栄養士、歯科衛生士が面接または電話による相談を随時受け付けます。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標
①相談組数(延)	4,000組	4,270組		106.8%	4,000組			4,000組			4,000組			4,000組		
②				%												
③				%												
総合評価				106.8%												
事業費(予算/決算)	4,880千円	4,585千円			—千円			—千円			—千円			—千円		

成果・課題	保健センター及び市内各地区6会場に出向き面接を実施。今年度より、相談実績の少ない大野・信篤会場を毎月開催とした。子ども館や子育て支援センター、子育て広場、サロンなど親が相談場所を選択し、気軽に子育てに関する相談が受けられる現状がある。身体計測の希望者が多く、スムーズな会場運営が課題である。
今後の取組内容	各施設来所者については、借用会場に協力を依頼していく。市の母子保健サービスの整合性を図りながらよりよい体制を検討する。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.53	予防接種事業	所管課	保健センター疾病予防課
基本目標	4.子どもと子育て家庭の健康づくり		施策の方向	9.母子保健の充実
事業内容	<p>出生届けの際等に「市川市予防接種手帳」を交付し、予防接種(ヒブ、小児用肺炎球菌、4種混合、三種混合、ポリオ、BCG、麻しん風しん、おたふくかぜ、日本脳炎、二種混合、子宮頸がん)を個別に実施します。</p>			

指標	平成27年度		達成率	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	数値目標	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標
①接種者数(延)	104,000人	94,432人	90.8%	105,000人	106,000人	107,000人	108,000人
②			%				
③			%				
総合評価			90.8%				
事業費(予算/決算)	1,019,395千円	962,858千円		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円

成果・課題	<p>「市川市予防接種手帳」を8,000冊作成し、出生届出者等に交付した。また、医師会等と個別予防接種業務委託契約を締結し、医療機関において予防接種を実施した。こうしたことから、前年度達成率79.2%に対し今年度は90.8%と達成率が向上したことで、感染症の発生及び蔓延防止に努めた。</p> <p>一方、乳幼児と比較し接種率が低下する児童・生徒においては、個別通知を徹底し、更なる接種率の向上に努めていく。</p>
今後の取組内容	<p>「予防接種手帳」や「市公式サイト」等で予防接種の必要性や重要性を周知する。また、平成28年度に導入した「予防接種スケジュールナビ」を通じて子どもの複雑な予防接種スケジュールを保護者に代わり作成し、保護者の負担を軽減させるとともに、接種日をメール配信することで予防接種の受け忘れ等を防止し、更なる達成度の向上を図る。</p>

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.54	所管課	保健センター疾病予防課
基本目標	4.子どもと子育て家庭の健康づくり	施策の方向	10.小児救急医療の充実
事業内容	急病診療所においては、休日や夜間の急な病気の応急処置を行うため、内科、小児科、外科(土、日、祝日)および年末年始の診療を実施します。休日急病等歯科診療所においては、休日に急な歯の痛み等の応急処置を行うために、日、祝日、盆期および年末年始に診療を実施します。		

指標	平成27年度		達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標		
①利用者数(延)(急病診療所)	16,000人	16,483人	103.0%	16,000人	16,000人	16,000人	16,000人	16,000人	16,000人	16,000人	16,000人
②医師の待機日数(急病診療所)	366日	366日	100.0%	365日	365日	365日	365日	365日	365日	366日	366日
③施設数(急病診療所)	1カ所	1カ所	100.0%	1カ所	1カ所	1カ所	1カ所	1カ所	1カ所	1カ所	1カ所
④利用者数(延)(休日急病等歯科診療所)	669人	642人	96.0%	700人	700人	700人	700人	700人	700人	700人	700人
⑤医師の待機日数(休日急病等歯科診療所)	75日	75日	100.0%	74日	75日	75日	75日	76日	76日	76日	76日
⑥施設数(休日急病等歯科診療所)	1カ所	1カ所	100.0%	1カ所	1カ所	1カ所	1カ所	1カ所	1カ所	1カ所	1カ所
総合評価			99.8%								
事業費(予算/決算)	215,884千円	215,078千円		一千円	一千円	一千円	一千円	一千円	一千円	一千円	一千円

平成27年度は、ゴールデンウィークや年末年始に加え、シルバークの連休、インフルエンザの流行が重なり、受診患者が平年よりも多かったが、応急処置を行うという目的については、おおむね達成したと考えられる。
 新型インフルエンザ等の感染症の流行や大規模災害発生等が発生した際の運営について今後も検討が必要のため、医師会等関係機関等と連携し、検討していく必要がある。

今後も、医師会、歯科医師会、薬剤師会等関係機関の協力が不可欠なため、定期的に協議を続け問題発生時には速やかに解決する等、円滑な運営に努めていく。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.55	あんしんホットダイヤル	所管課	保健センター-疾病予防課
基本目標		4.子どもと子育て家庭の健康づくり	施策の方向	10.小児救急医療の充実
事業内容	<p>夜間や休日に診療している病院などが知りたいとき、急な病気やケガの対処に困ったとき、健康に関する相談がしたいとき、子育てに関する相談がしたいとき等に問い合わせができ、医師、保健師、看護師などから適切なアドバイスを受けられるフリーダイヤルのテレフォンサービスを24時間年中無休で実施します。</p>			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①利用件数	30,000件	29,366件		97.9 %	30,000件	30,000件	30,000件	30,000件	30,000件	30,000件	30,000件	30,000件
②				%								
③				%								
総合評価				97.9 %								
事業費(予算/決算)	27,075千円	27,075千円			— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円

成果・課題	<p>ほぼ目標通りの利用件数であり、小児に関する相談については、全相談件数の中で最も多いことから子育て世代の健康づくり等に活用されているといえる。</p>
今後の取組内容	<p>頻繁にあんしんほっとダイヤルを利用する相談者等の対応について、委託業者に事実確認を行い、対応を相互に確認することにより、円滑に事業を運営できるように努める。</p>

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.56	2次救急医療運営事業	所管課	保健センター-疾病予防課
基本目標		4.子どもと子育て家庭の健康づくり	施策の方向	10.小児救急医療の充実
事業内容	主治医や急病診療所では対応困難な病気、入院・手術が必要な場合および急病診療所の診療時間外における受入れ体制の充実のため、救急医療体制(2次)を整備します。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①利用者数(延)	80人	108人		135.0 %	80人	80人		80人	80人		80人	80人		80人		
②医師の待機日数	366日	366日		100.0 %	365日	365日		365日	365日		365日	365日		366日		
③施設数	7カ所	7カ所		100.0 %	7カ所	7カ所		7カ所	7カ所		7カ所	7カ所		7カ所		
総合評価				111.7 %												
事業費(予算/決算)	81,335千円	81,335千円			— 千円	— 千円		— 千円	— 千円		— 千円	— 千円		— 千円		

成果・課題	救急医療対策事業としての位置づけは変わっていない。引き続き医師会等関係医療機関の協力を得て、事業を継続していきけるよう医療体制の充実に努めていく必要がある。
今後の取組内容	引き続き医師会等の関係機関の協力を得て、医療体制の充実に努めるよう検討していく。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.57	2.5次救急医療運営事業	所管課	保健医療課
基本目標	4.子どもと子育て家庭の健康づくり		施策の方向	10.小児救急医療の充実
事業内容	脳血管疾患、循環器疾患等の重篤救急患者および小児科をはじめ、夜間・休日の対応の少ない診療科の受け入れ体制の充実のため、1次・2次の救急医療機関の後方病院的役割を担う救急医療体制(2.5次)を整備します。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①医師の待機日数(小児科医)	366日	366日	100.0	%	365日	365日	365日	365日	365日	365日	365日	366日				
②施設数(市内の小児科医療機関)	3カ所	3カ所	100.0	%	3カ所	3カ所	3カ所	3カ所	3カ所	3カ所	3カ所	3カ所				
③				%												
総合評価	100.0			%												
事業費(予算/決算)	106,664千円	106,664千円			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

成果・課題	小児科については、市内(順天堂大学医学部附属浦安病院、東京ベイ・浦安市川医療センターを含む。)の2.5次病院の3院で365日体制の医療体制をとっている。小児科は2.5次の医療機関への搬送の割合が約8割と高いことから、今後も2.5次体制の強化を図っていく。
今後の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小児科について2.5次医療機関での小児科医の待機日数を年365日とするなどの、引き続き2.5次医療体制の維持を図る。 ・新たに2.5次体制に加わる病院数を増やすべく、病院に対しての働きかけを行う。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.58	要保護児童への支援事業(要保護児童対策地域協議会)	所管課	子育て支援課
基本目標		5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援	施策の方向	11.虐待防止・対応のための取り組みの充実
事業内容	要保護児童等への適切な支援を実施するため、関係機関(警察、法務局、児童相談所等)の関わり、市関係機関、医師会、歯科医師会、人権擁護委員協議会、学校長連絡協議会、民生委員児童委員協議会、青少年相談員連絡協議会等)により、協議会にて情報を共有し、支援体制の検討・評価・評価・進捗管理を行うなど、協力連携を図りながら要保護児童等を支援していきます。 今後は児童虐待の要因の一つとなりやすい発達障害の問題も取り上げていきます。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①支援世帯(実)	400世帯	418世帯	104.5%	400世帯	400世帯	400世帯	400世帯	400世帯	400世帯	400世帯	400世帯	400世帯
②			%									
③			%									
総合評価			104.5%									

事業費(予算/決算)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

成果・課題	定期的な会議を実施し、各機関の現況や新規事業、またケース報告等による情報共有を行い、連携の強化を図った。
今後の取組内容	定期的な会議を実施し、関係機関との連携強化を図る。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.59	家庭児童相談事業	所管課	子育て支援課
基本目標		5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援	施策の方向	11.虐待防止・対応のための取り組みの充実
事業内容	<p>市の「家庭児童相談」は、児童虐待相談の通報窓口機能をもつとともに、家庭児童相談員が虐待を受けている児童に関する調査、支援計画の作成、支援の実施を行います。また、子どもの発達、育児の不安、家庭の養育環境等子育てに関する様々な相談についても、家庭児童相談員が対応し、育児不安の解消や虐待の未然防止を図ります。</p>			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①相談件数(延)	4,000件	4,574件	114.4	%	4,000件	4,000件	4,000件	4,000件	4,000件	4,000件	4,000件	4,000件
③				%								
総合評価			114.4	%								

事業費(予算/決算)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

成果・課題	虐待通報に対し、調査、訪問、また子育ての相談対応等、必要に応じた支援を実施しており、年々相談対応件数が増加している。通報窓口機能について認識されてきている。	
今後の取組内容	今後も相談窓口の周知を図るとともに、様々な相談に対応し、育児不安の解消や虐待の防止を図る。	

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.60	養育支援訪問事業	所管課	子育て支援課
基本目標	5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援		施策の方向	11.虐待防止・対応のための取り組みの充実
事業内容	児童虐待相談や保健センターの新生児訪問等により、児童の養育について積極的に支援することが必要と判断される家庭に対し、ヘルパー等を派遣して養育に関する指導、助言、家事・育児援助等を行うことにより、家庭における児童の適切な養育環境を確保していきます。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①利用者数(実)	8人	6人	75.0	%	9人	10人	10人	10人	10人	10人	10人	10人
②				%								
③				%								
総合評価			75.0	%								

事業費(予算/決算)	779千円	352千円	—	千円	—	千円	—	千円	—	千円	—	千円
------------	-------	-------	---	----	---	----	---	----	---	----	---	----

成果・課題	特にネグレクトや養育困難家庭において、集中的な居宅支援を行うことにより子どもの生活環境改善や見守りが図れた。事業導入を検討する過程において判断基準が高まり、結果として利用者数が伸びなかったことが課題。											
今後の取組内容	緊急性・必要性の高い家庭への支援とともに、虐待予防効果が見込まれる家庭への導入をはかる。											

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.61	親力スキルアップ・CSP講座	所管課	子育て支援課
基本目標		5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援	施策の方向	11.虐待防止・対応のための取り組みの充実
事業内容	児童虐待の予防や親子関係の改善を目指すため、CSP(コモンセンス・ペアレンティング)という技法を活用した子育て方法を学ぶ講座を実施します。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①講座開設数	16回	15回	93.8%	16回	16回	16回	16回	16回	16回	16回	16回	16回
②参加者数(実)	80人	128人	160.0%	80人	80人	80人	80人	80人	80人	80人	80人	80人
③												
総合評価	126.9%											

事業費(予算/決算)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

成果・課題	入門編(1回)104人、本講座24人(実)と数値目標を上回る参加で多くの方に虐待予防につながる対応について伝えることが出来た。今後も引き続き、子育てでの対処方に悩む養育者、関係機関へ具体的対応方法を伝えてゆく。
今後の取組内容	虐待防止につながる市民への講座を継続的に実施してゆく。市広報紙・ホームページ、チラシの自治会配布や子ども関係機関配布をし、市民に対し周知、参加の呼びかけをしてゆく。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.62	児童扶養手当(母子家庭)	所管課	こども福祉課
基本目標	5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援		施策の方向	12.ひとり親家庭等の自立のための支援の充実
事業内容	母子家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の健全な育成を図るため、手当を支給します。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度 数値目標	平成29年度 数値目標	平成30年度 数値目標	平成31年度 数値目標
	数値目標	実績	実績					
①受給児童数(延)	39,211人	38,493人	98.2	%	39,211人	39,211人	39,211人	39,211人
②				%				
③				%				
総合評価				98.2				
事業費(予算/決算)	1,026,609千円	1,009,633千円			— 千円	— 千円	— 千円	— 千円

成果・課題	(成果)母と生計を同じくしていない児童を養育している家庭に手当を支給し、生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図った。 (課題)受給者の遡っての資格喪失等により、過誤払金が発生するなど適正な支給が行われないことがある。
今後の取組内容	運用上、疑義が生じた場合には、逐次千葉県担当課に確認を求めながら実施するとともに、受給者に対しても諸届や現況届の際などに、重ねて説明を行うなど、制度に基づく適切な手当の支給に努める。また、過誤払金に関する注意書を英語・中国語に翻訳し外国人の相談者等に配布し説明を行う。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.63	児童扶養手当(父子家庭)	所管課	こども福祉課
基本目標		5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援	施策の方向	12.ひとり親家庭等の自立のための支援の充実
事業内容	父子家庭の生活の安定と自立を助け、児童の健全な育成を図るため、手当を支給します。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標
① 受給児童数(延)	1,908人	1,438人		75.4%	1,908人			1,908人			1,908人			1,908人		
②				%												
③				%												
総合評価				75.4%												
事業費(予算/決算)	1,026,609千円	1,009,633千円			—	千円		—	千円		—	千円		—	千円	

成果・課題	(成果)母と生計を同じくしていない児童を養育している家庭に手当を支給し、生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図った。 (課題)受給者の遡っての資格喪失等により、過誤払金が発生するなど適正な支給が行われないことがある。
今後の取組内容	運用上、疑義が生じた場合には、逐次千葉県担当課に確認を求めながら実施するとともに、受給者に対しても諸届や現況届の際などに、重ねて説明を行うなど、制度に基づき適切に手当の支給に努める。また、過誤払金に関する注意書を英語・中国語に翻訳し外国人の相談者等に配布し説明を行う。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.64	ひとり親家庭等医療費助成事業	所管課	こども福祉課
基本目標	5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援		施策の方向	12.ひとり親家庭等の自立のための支援の充実
事業内容	ひとり親家庭および父母のいない児童を養育する家庭の福祉の増進を図るため、これらの家庭の医療費(保険適用分)の一部を助成します。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度			
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標		
①助成対象者数(実)	1,477人	1,416人		95.9%	1,477人			1,477人			1,477人			1,477人			1,477人
②				%													
③				%													
総合評価				95.9%													
事業費(予算/決算)	35,841千円	32,492千円			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

成果・課題	(成果)ひとり親家庭の父母等(母子・父子・父母のいない児童を養育する家庭等)に対し、生活の安定と自立を図るため、医療費の一部を助成した。 (課題)住民登録では確認しづらい事実上の婚姻や遡っての所得修正など、把握が遅れる過払いになってしまふケースの対応。
今後の取組内容	課内での連携を強化し、情報の共有を徹底することにより過払いを防ぐ。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.65	所管課	ことほ福祉課
基本目標	5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援	施策の方向	12.ひとり親家庭等の自立のための支援の充実
事業内容	両親もしくはどちらか一方が死亡、1年以上の生死不明または障害となった場合、その児童の健全な育成を図るため、手当を支給します。		

指標	平成27年度			達成率	平成28年度 数値目標	平成29年度 数値目標	平成30年度 数値目標	平成31年度 数値目標
	数値目標	実績	実績					
① 受給児童数(延)	2,700人	2,243人	83.1	%	2,700人	2,700人	2,700人	2,700人
②				%				
③				%				
総合評価			83.1	%				

事業費(予算/決算)	16,332千円	16,303千円	— 千円	— 千円	— 千円
------------	----------	----------	------	------	------

成果・課題	(成果)義務教育修了前の児童(遺児)を養育している保護者に対して手当を支給し、その児童の健全な育成を図った。 (課題)所得制限額(市民税所得割額の制限)の変更、遺児手当制度についての市民への周知。
今後の取組内容	他課との連携、窓口案内の充実を図る。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.66	ひとり親相談事業	所管課	子育て支援課
基本目標	5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援		施策の方向	12.ひとり親家庭等の自立のための支援の充実
事業内容	ひとり親家庭の生活や就労に関して、母子自立支援員が相談に応じ、自立に向けた相談・支援を行います。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①相談件数	700件	214件		30.6 %	700件			700件			700件			700件		
②相談員の体制	2人	2人		100.0 %	2人			2人			2人			2人		
③				%												
総合評価				65.3 %												

事業費(予算/決算)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

成果・課題	件数は目標値に達していないが、ひとり親家庭対象者からの相談に対応するだけでなく、これから離婚を考えている母または父に対しては今後の生活に活用できる支援制度を紹介する等、個々のニーズに合わせた相談対応を実施。															
今後の取組内容	家庭の状況に応じた相談・支援を実施。															

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.67	母子の緊急一時保護事業	所管課	子育て支援課
基本目標		5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援	施策の方向	12.ひとり親家庭等の自立のための支援の充実
事業内容	経済的困窮、DV避難、火災等により居所がなくなってしまった母子を、施設において一時的に保護するとともに、自立に向けた支援を行います。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度 数値目標	平成29年度 数値目標	平成30年度 数値目標	平成31年度 数値目標
	数値目標	実績	25世帯					
①利用世帯数(延)	100世帯	25世帯	25.0	%	100世帯	100世帯	100世帯	100世帯
②				%				
③				%				
総合評価			25.0	%				

事業費(予算/決算)	573千円	143千円	— 千円	— 千円	— 千円
------------	-------	-------	------	------	------

成果・課題	DV避難のため一時保護を実施。			
今後の取組内容	緊急に一時的に保護が必要な母子に対し保護を実施するとともに、自立に向けた支援を行う。			

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.69	子ども発達相談室事業	所管課	発達支援課
基本目標	5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援		施策の方向	13.発達の支援が必要な子ども・子育て家庭への支援の充実
事業内容	<p>発達の支援が必要な子どもの相談を受け付け、一人ひとりに応じた個別支援計画に基づき、指導や家族支援を行います。(乳幼児から就学前まで。個別指導・グループ指導など)さらに公共施設等で、相談と指導の地域拠点を定期的に設け、継続的な支援を受けやすくなるようにします。</p>			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①相談件数(延)	10,000件	9,443件		94.4%	10,000件	10,000件	10,000件	10,000件	10,000件	10,000件	10,000件	10,000件
②対象年齢	小学校3年まで	小学校3年まで		100.0%	小学校3年まで	小学校3年まで	小学校3年まで	小学校3年まで	小学校3年まで	小学校3年まで	小学校3年まで	小学校3年まで
③施設数	3カ所	3ヶ所		100.0%	3カ所	3カ所	3カ所	3カ所	3カ所	3カ所	3カ所	3カ所
総合評価				98.1%								
事業費(予算/決算)	34,892千円	34,794千円			—千円	—千円	—千円	—千円	—千円	—千円	—千円	—千円

成果・課題	利用者の延べ人数は年々増加傾向にある。一方課題としては、市内に児童発達支援を行う民間事業所が増加してきており、地域の中での役割分担を行うことが必要となっている。
今後の取組内容	市川市の現状を踏まえて、今後相談室が地域の中でどのような役割を果たすべきか、整理をしながら、市全体の支援のバランスを考える。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.70	発達障害の理解と支援のための研修	所管課	発達支援課
基本目標		5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援	施策の方向	13.発達の支援が必要な子ども・子育て家庭への支援の充実
事業内容		障害児への理解の促進および教育や保育現場で活かせるような障害の特性を理解した支援や援助の方法を習得していくための研修や、あおぞらキッズ・おひさまキッズの療育現場を活用した実技研修会を開催していきます。		

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	実績	実績	数値目標	実績	実績	数値目標	実績	実績	数値目標	実績	実績
①受講者数(延)	200人	199人		99.5%			250人			300人			300人			300人
②研修の実施	30回	30回		100.0%			30回			30回			30回			30回
③																
総合評価				99.8%												
事業費(予算/決算)	34,982千円	34,794千円					—千円			—千円			—千円			—千円

成果・課題	専門職員のスキルアップをねらいとして、市内事業所向け研修を2回シリーズとして行ったことで事業所職員の参加が見られたこと。一方の課題としては、私立幼稚園教諭の研修参加者が増えないこと。
今後の取組内容	私立幼稚園、私立保育園の研修を3回シリーズ(初級、中級研修)として行い、研修修了者は、電話相談などにより連携をとりやすくしていく。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.71	発達障害児保育(保育園)	所管課	こども施設運営課
基本目標	5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援		施策の方向	13.発達の支援が必要な子ども・子育て家庭への支援の充実
事業内容	配慮を要する子どもの保育の実施にあたっては、こども発達センターの指導・助言を受け、連携してすすめていきます。また、保育士に対する研修も実施していきます。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標
①障害児受入可能施設	75カ所	57カ所		76.0 %	80カ所			80カ所			80カ所			80カ所		
②				%												
③				%												
総合評価				76.0 %												
事業費(予算/決算)	30千円	70千円			1千円			1千円			1千円			1千円		

成果・課題	成果:「保育士が様々な研修を通して知識の向上を図ると共に配慮を要する児童の特性の理解力が底上げされており、対応力が高まっている。その為集団保育の中で、配慮される児童が生活しやすい環境になっている。」 課題:「保育士の知識の向上により対応力は高まっているが、配慮を必要とする児童の数が年々増加傾向にある。特に集団への適応が明らかに困難な児童については、早期療育の機会が得られるように保護者の精神面を考慮しながら支援していく必要がある。」
今後の取組内容	特別支援学校のコーディネーターの活用及び外部講師による先進的な研修とこども発達センターとの連携のもと進めていく。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.72	幼児教育相談	所管課	就学支援課
基本目標	5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援	施策の方向	13.発達の支援が必要な子ども・子育て家庭への支援の充実	
事業内容	特別支援教育の充実を図るため、公立幼稚園内にひまわり学級を設置するとともに、幼児教育相談員が公立・私立幼稚園を巡回し、教諭への指導助言を行い、保護者の相談に対応します。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標
①相談件数(延)	900件	1,041件		115.7 %	900件	900件		900件	900件		900件	900件		900件	900件	
②相談員体制	4人	4人		100.0 %	4人	4人		4人	4人		4人	4人		4人	4人	
③ひまわり学級の設置	3カ所	3ヶ所		100.0 %	3カ所	3カ所		3カ所	3カ所		3カ所	3カ所		3カ所	3カ所	
総合評価				105.2 %												
事業費(予算/決算)	3,216千円	3,216千円			— 千円	— 千円		— 千円	— 千円		— 千円	— 千円		— 千円	— 千円	

成果・課題	公立幼稚園7園、私立幼稚園24園を対象に延べ1,041人の園児に対し、それぞれの担当教諭及び保護者への確かな指導及び助言をすることにより、障害児と健常児が共に学び育つ幼児教育の質が向上した。 市立幼稚園は8園から、6園に減り、幼児人口も減少傾向のため、目標数値を見直す必要がある。
今後の取組内容	幼児人口は減少しているが、相談件数は増加傾向にあるため、今後も特別支援教育の充実を図るため、事業の周知に努めたい。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名 No.73	雇用促進奨励金(母子家庭の母等)	所管課	商工振興課雇用労政担当室
基本目標	6.仕事と子育ての両立支援	施策の方向	14.仕事と子育ての両立支援
事業内容	母子家庭の母等の常用雇用を促進するため、公共職業安定所の紹介等で母子家庭の母等を雇用した事業主に対して奨励金を交付します。		

指標	平成27年度			達成率	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標
①受給者数(実)	17人	9人	52.9	%	17人	17人	100	%	17人	17人	100	%	17人	17人	100	%
②				%				%				%				%
③				%				%				%				%
総合評価	52.9			%												
事業費(予算/決算)	21,780千円	20,810千円			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

成果・課題	公共職業安定所の紹介で母子家庭の母等を雇用した事業主の件数自体が微減していること、あわせて申請率も微減していることから、目標値に達しなかった。 申請率を上げることが課題となっている。また、制度の周知を図り、母子家庭の母等が雇用されやすい環境を作ることが課題である。
今後の取組内容	申請案内を送付した事業主に対し、申請漏れがないよう呼びかけていく。 ホームページ等で制度の詳細や申請時の注意点を案内し、申請がしやすい体制を整える。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.74	いちかわ子育て応援企業認定事業	所管課	子育て支援課
基本目標		6.仕事と子育ての両立支援	施策の方向	14.仕事と子育ての両立支援
事業内容	子育てにやさしいまちづくりを推進するため、子どもや子育てにやさしい取り組みを進める企業を「いちかわ子育て応援企業」として認定します。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標
①新規認定企業数	5社	3社	60.0	%	5社	5社	5社	5社	5社	5社	5社	5社
②				%								
③				%								
総合評価				60.0								

事業費(予算/決算)	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
------------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

成果・課題	従業員数101人以上の企業の一般事業主行動計画策定がほぼ達成されたため、より広い企業に向けて支援すべく、認定基準を改正した。27年度は従業員数100人以下の企業の認定となったが、目標達成率は6割であった。「いちかわ子育て応援企業」の認知度をより高めることが課題である。											
今後の取組内容	27年度までは、年に一度募集・認定を行ってきたが、28年度以降は、随時募集受付・認定を行うこととし、認定企業数の増を図っていく。											

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <平成27年度>

事業名	No.75	家族の週間事業	所管課	子育て支援課
基本目標		6.仕事と子育ての両立支援	施策の方向	14.仕事と子育ての両立支援
事業内容	内閣府が定める「家族の日」(11月第3日曜日)、その前後1週間の「家族の週間」に合わせ、地域の企業・NPO等の協力により、子育て家庭を対象としたイベントを実施するとともに、公共施設の入場料等のサービス等を実施します。これにより、「家族の大切さ」「家族を支える地域の力」について啓発し、地域全体で子育て家庭を支援していきます。			

指標	平成27年度			達成率	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	数値目標	実績	実績		数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	数値目標	
①参加者(延)	5,000人	5,351人	107.0	%	5,000人	5,000人	5,000人	5,000人	5,000人	5,000人	5,000人	5,000人
②参加企業・団体	50団体	59団体	118.0	%	50団体	50団体	50団体	50団体	50団体	50団体	50団体	50団体
③				%								
総合評価			112.5	%								

事業費(予算/決算)	552千円	508千円	—	千円	—	千円	—	千円	—	千円	—	千円
------------	-------	-------	---	----	---	----	---	----	---	----	---	----

成果・課題	・協力団体により様々なイベントが実施された。新規の利用者の増加、サークル活動の周知の機会にも繋がっている。 ・企業との共催による「いちかわファミリーフェスタ」を開催し、家族の日の周知に繋がった。 ・家族の週間の認知度が高くない。											
今後の取組内容	・家族の週間の認知度を向上させるため、リーフレットや市の広報、いちかわっこWEBを活用して周知を図る。											